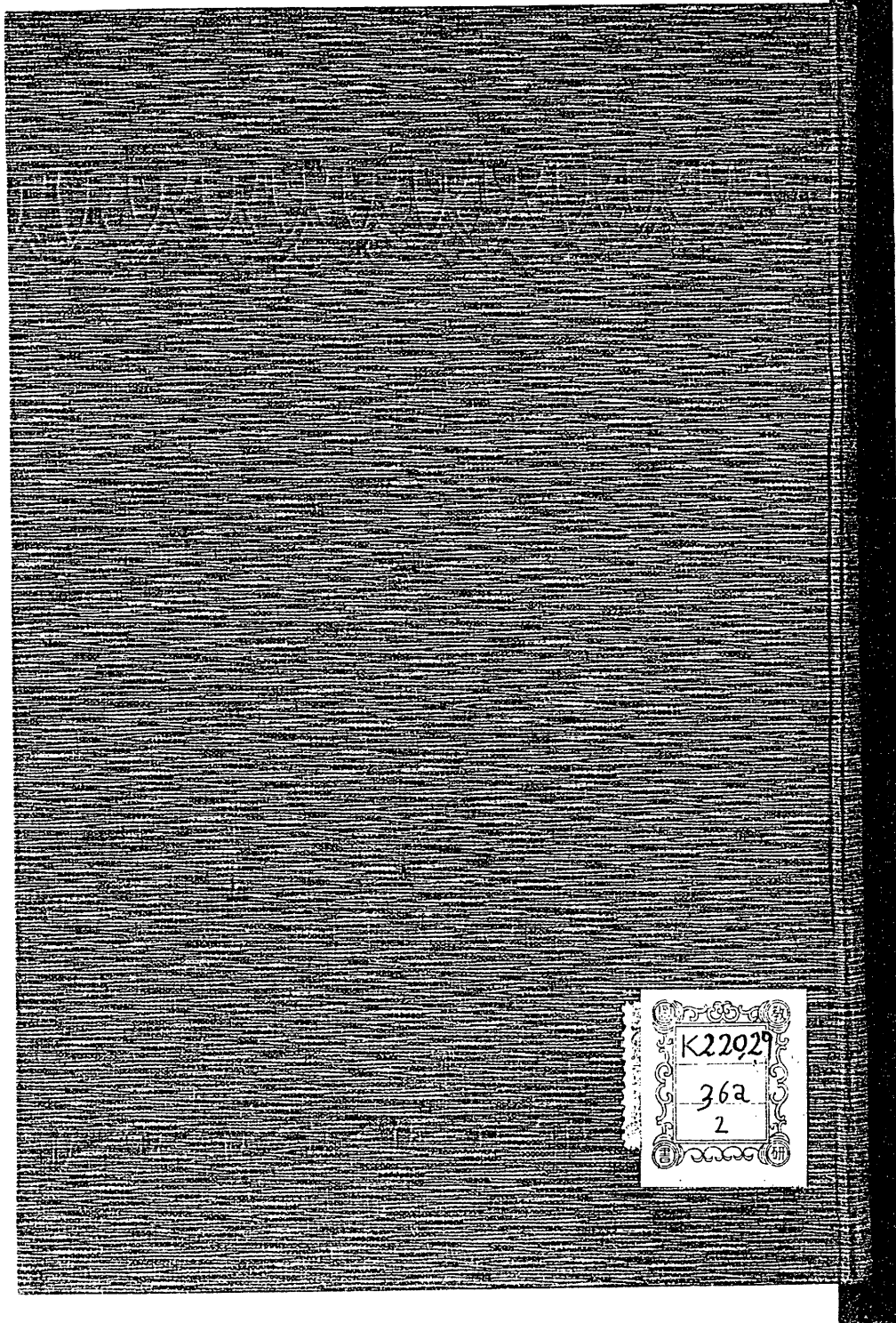
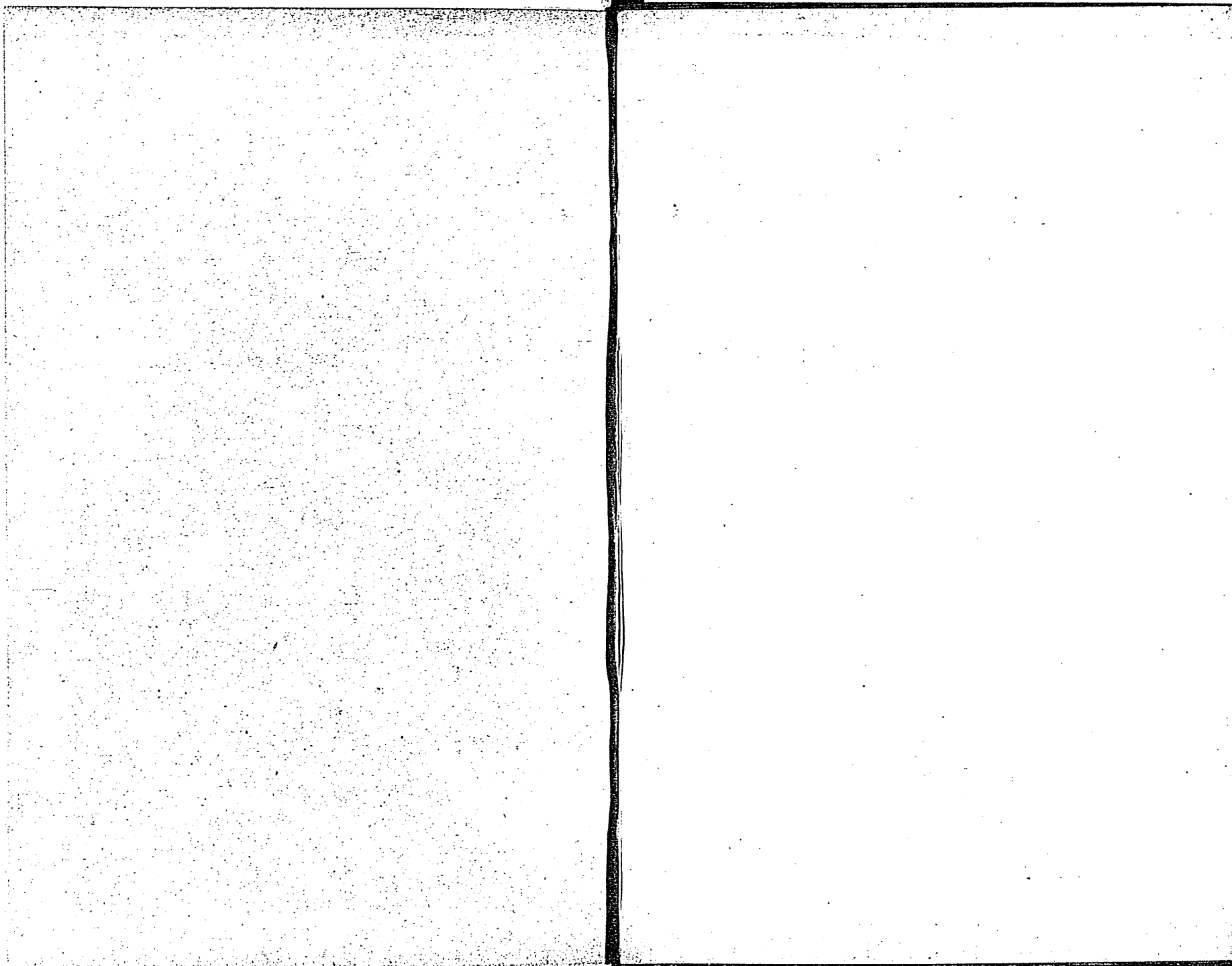




K220.29

36a

2



野口保興著

中卷



外國地理



東京

目黒書店
成美堂書店
合梓

中等
教科 外國地理

例言

- 一 本書は中等教育の地理科教授用に充つる爲に編纂せしものにして 帝國地理、地文大意 と相俟つべきものなりとす。
- 一 地圖を本書に挿入するは使用上不便少なからざるべしと信じ別に 外國新地圖 を著作して参照用に供せり。
- 一 本書には米突的度量衡法を用ひたるを以て参照の爲、同法に屬せざるもの一二を左に併記せり。
 - 一米突(メートル) 三尺三寸
 - 一杆(キロメートル) 九町十間

- 一 糧(センチメートル) 三分三厘
- 一 耗(ミリメートル) 三厘三毛
- 一 方秆 百町八段三畝十歩
- 一 噸 艦の排水量を測るに用ふ 二百六十六貫六百六十七匁
- 一 哩(マイル) 陸上の距離を 凡十四町四十五間
- 一 哩(マイル) 一に海里と云ふ海上の距離を測るに用ふ 凡十六町九分七厘五毛
- 一 普通噸 西洋形商船の大 凡四十立方尺
- 一 温度は總て攝氏寒暖計即ち百度法に依れり。

中等
教科
外國地理
目次

上卷

あじあ洲.....一
おせあにあ洲.....七六

中卷

ヨーロッパ洲.....一
あふりか洲.....七七

下卷

あめりか洲.....一
汎論.....四九

中等
教科 外國地理中卷目次

ヨーロッパ洲

總論	一
ロシア	一四
スカンデナヴィア	二一
スウェーデン	二三
ノルウェー	二四
デンマルク	二四
ドイツ	二六
オーストリア	三二
リヒテンシュタイン	三六
スイス	三六

オランダ	三九
ベルギー	四一
ルクセンブルグ	四三
フランス	四三
モナコ	五〇
イギリス	五〇
イベリア	六一
イスパニア	六三
ジブラルタル	六三
ポルトガル	六四
イタリア	六五
マルタ	六九
バルカン	六九

あふりか洲

總論

北部

北東地方

ベルベリア

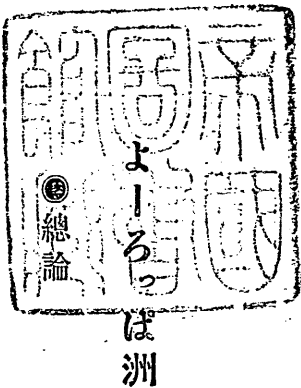
サハラ

中部

スーダン	九五
アビシニア	九六
シマール	九七
東アフリカ	九七
コンゴ	九八
南部	九八
西岸地方	九九
中央地方	九九
東岸地方	一〇〇
南端地方	一〇〇
島嶼	一〇三
印度洋島嶼	一〇三
大西洋島嶼	一〇五

中等教科外國地理

野口保興 著



境域

ヨーロッパ(歐羅巴)洲は舊大陸の北西部を占めて北は北極洋、西は大西洋、南は地中海に而し、東の方アジア洲との陸境には明確ならざる所ありて恰之に附屬せる半島の如し、東西に長く南北に短くして地積はアジア洲の四分の一に達せざるもオセアニアより稍大なり。

海岸線

極北	ノルドキン岬	北緯	七一 ^四	〇五 ^五
極南	タリフ岬	北緯	三六	〇〇
極東	カラ河の水源	東經	六六	二〇
極西	ロカ岬	西經	九	三〇

地形 海岸線は五大洲中最發達して内部と海洋との距離遠からず、半島島嶼に富めり。

北極洋	カラ海	白海	北海	アイルランド海
大西洋	バルト海	ボトニア海	北海	アイルランド海
地中海	ビスカヤ灣	チレニア海	アドリア海	イオニア海
地中海	エーゲ海	マルマラ海	黒海	アゾフ海
海峽	南西部	スカゲラク	カテガット	イギリス
南東部	ダルダネル	ボスボロス		

山岳

半島	北部	コラ	スカンデナヴィア	ユトランド
南部	イベリア	イタリア	バルカン	
北西部	ノルドキン	スカゲン		
西部	フィニステラ	ロカ	ビンセント	
南部	ジブラルタル	スバルチベント	マタバン	
地角	コリント	ペレコップ		
地峽	北極洋	スピッツベルゲン諸島	ノワヤゼムリア諸島	
島嶼	大西洋	イスランド島	イギリス諸島	大ブリテン
地中海	パレアル諸島	コルシカ島	サルデニア島	
	シチリア島	クレテ島	エウボイア島	

山岳は中部のアルプ山脈に於て最も高くピレネー、アペニン、バルカン、カルパチア、スカンデナヴィア等の諸山脈亦著はる、臺地は多からずして廣大なる低地は東部より西部に亘り、ドナウ河の流域にも廣き平野あり、また火山は南部の

イタリヤ地方と北西部のイスランド島とにあり。

アルプ山脈 モンブラン(四八〇〇) マサ(四六三八)

カルパチア山脈 タトラ(二六六三)

南部山脈

バルカン山脈 チュロダハ(三〇五〇)

ピンドス山脈 オリンピア(二九七三)

アペニン山脈 クランサツソ(二九二二)

ピレネー山脈 マラデッタ(三四〇四)

ユラ山脈 クレイドラネーヅウ(二七〇〇)

中央山脈

ペーメン山 蒙シマネーコップ(一六〇二)

フォーゲーゼン山脈 クランバロン(一四二六)

シワワルツワルド山脈 ヘルドベルグ(一四九五)

グランビア山脈 ベンネビス(三四三)

北部山脈

スカンデナヴィア山脈 イメスフィエルド(二五六〇)

ウラル山脈 テルボスイス(一六五六)

アルプ山脈

アルプ山脈は最も有名な山脈の一にして其の基底は約二十三萬方呎に亘

りヨーロッパの最高峯たるモンブランの外、

四千米突以上に達するもの數峯を包括せり、

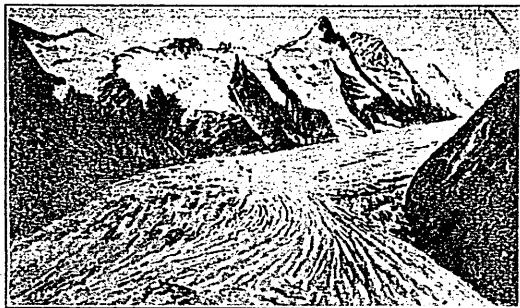
然れども縦横に走行せる峡谷は天然の通路

を開きて周圍に於ける住民をして容易に交

通するを得しめ、氷河積雪は一大貯水區を爲

して無數の溪流を發せしむ。

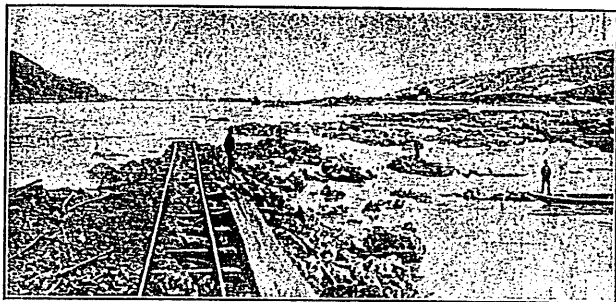
河流



〔山脈アルプ〕河氷ヒチレア

本洲は土地廣大ならざれば大河、
長流の存し得ざるは勿論なるも水
量に乏しからざる河流ありて航行
に便を與ふるもの少なからず、中に就きボルガ、ドナウ、ライ
ンを以て三主流とす。

ボルガ河



鐵門(ドナウ河)

カスピ海斜面 ボルガ(三五七〇)

黒海斜面 ドン(一八六〇) ドニエプル(二五〇) ドナウ(二八五〇)

地中海斜面 ボ(六八〇) ロ(七五九) エ(七五〇)

大西洋斜面 タ(一〇一〇) グ(アデアナ(八三〇) ロ(ワール(二〇二〇) セ(イヌ(七〇〇) ライ(一五八〇) エル(一一五四)

バルト海斜面 オ(イデル(九〇三) ウ(イスツラ(一一二五) デ(ャナ(九三〇)

北極洋斜面 ド(ビナ(一七八〇) ベ(チオラ(一五八〇)

ボルガ河は本洲第一の巨流なり、水源をワルダイの臺地に發し東流して數多の沼湖の水を

ドナウ河

ライン河

沼湖

容れたオカ、カマ等の諸流を容れたる後、三角洲を爲してカスピ海に入る。本河には魚類を産すること夥し。

ドナウ河はボルガに次ぐ長流なり、ショワルツワルド山脈に起り、ホンガリア平野を潤したる後、鐵門と稱する峽谷を過ぎ、遂に三角洲を形成して黒海に朝す。支流にドラウ、タイス、ザベ等あり。

ライン河は、水源をアルプ山脈に發し、コンスタンツ湖と成り、ユラ山脈を横ぎり、水勢漸く緩慢と成り、數派に分かれて海に終る。本流は其の長、ボルガドナウに劣るも、効用は比較的、に多く、沿岸に風景の佳なる處あり。

湖沼は主として北西部に存し、ラドガ湖最、大にして、オネガ湖之に次ぐ而して、アルプ、スコットランドの二地方には、風色明媚のもの多し。

ラドガ湖はヨーロッパ第一の大湖なるも、面積は二萬方呎に達せず、オネガ湖の水を受け、フィンランド灣に排水す。

氣候 氣溫は南部に高く、北部に低く、暖流の影響を受く。

る部は溫和なれども東部は寒暑の差強し、雨量は西より東するに従ひて減ず、然れども東部も甚しく寡雨ならざるが爲にやアジアに於けるが如き大沙漠を見ず。

天産 植物に就きては地中海沿岸に「オリーブ」、柑類、椰樹、等容易に繁殖す而して穀類の耕種に適せる地少なからざるが、北部并に東部には森林、草原の地ありてアジア的なり、動物は猛獸奇獸の存すること少なく、狼、熊、河狸、馴鹿、等を見るに過ぎずして鳥類、爬蟲にも列擧すべきものなし、鑛物は鐵と石炭とに豊富なり。

住民 人口は四億以上ありて密度の大なる他洲に其の比を見ず、殊に西部を以て然りとす、人種は主として白色と黄色とに屬せり、白色人種(三億八千萬)にはラテン(一億一千

人口
人種

四百萬、チャートン(一億三千六百萬)、スラブ(一億二千六百萬)の三群の外、ケルト群、等ありて、黄色人種(二千萬)にはフィンマジャーール、トルコ、等の種族あり。

種		派		群		主 要 種 族	
白		色		黄			
ラテン		チャーリオン		フィン			
ギリシア		スラブ		モンゴリア			
イタリア		ケルト		トルコ			
フランス		スラヴ		フィン			
イスパニア		スラヴ		フィン			
ドイツ		スラヴ		フィン			
オランダ		スラヴ		フィン			
スカンデナヴィア		スラヴ		フィン			
ロシア		スラヴ		フィン			
ポーランド		スラヴ		フィン			
チェヒ		スラヴ		フィン			
セルビア		スラヴ		フィン			
ブルガリア		スラヴ		フィン			
ウエールス		スラヴ		フィン			
アイルランド		スラヴ		フィン			
オスマンリー		スラヴ		フィン			
トルコ		スラヴ		フィン			
タタル		スラヴ		フィン			

ヨーロッパ 總論

宗教

教育

宗教と種族との間には關係の存するか、の如く見ゆるが、ラテン群の人民は概してローマ公教(一億七千一百萬)を奉じ、新教徒(一億六百萬)の多くはチュートン群に屬し、スラブ、フィン、ギリシア人等はギリシア正教(一億)を信奉す、またオスマンリートルコ、タタル等は、マホメット教(五百七十萬)に歸依し、ユダヤ教徒(九百萬)は各地に散在せり而して、教育は他洲に比すれば概して進歩せり。

生業 農、林、牧、漁の諸業盛なるのみならず、本洲は鐵、石炭の産に富めるを以て工業は各種の製品を與ふること夥く、貿易は廣く全世界に亘りて行はれ、其の額、他洲の孰よりも

色	ラップ	ラップ
フェイス	ウグリア	マジファール

大なり而して船舶、鐵道、郵便、電信、等交通の機關よく備はりて交通の便甚多し。

分國 本洲には二十餘の國ありて概立憲政治を施すがイギリス、フランス、ドイツ、ロシア、オーストリア、ハンガリア、イタリアの六大國、スウイス、オランダ、ベルギーの三小國は國勢盛にして此等の多くは廣大なる殖民地を有す。

部		面積		人口		密度	
國	土	人	口	度	密	首	府
東	ヨーロッパ	五、四一、五〇九	一、〇五七、二五五	一九	ベテルブルグ		
	ロシア諸州	四、七、五三三	九、四四、二六四	一九	ワルシワ		
	ポーランド	二、三、二七	九、四〇、三三三	七三	ヘルシングフォ		
	フィンランド	三、七、五〇四	二、八五、七〇八	九	ヘルシングフォ		
	アソフ海	三、七、五〇五					
スウェーデン王國	四四、六六四	五、三九、四八五	二三	ストックホルム			

北				中				西				南			
ノルウェー王國	三、四七六	二四、〇三三	セ	クリスチアニア	六	六	六	オランダ王國	三、三〇〇	五九、一六九	一六九	イスパニア王國	五〇、四九七	一八六、七九六	七
デンマルク王國	三、九五四	二六〇、四二四	六	コペンハーゲン	六	六	六	ベルギー王國	二、九四九	七六、〇五七	二四九	ポルトガル王國	九、二五七	五四三、三三三	六
ドイツ國	五、〇七四	六〇六、七八九	二	ベルリン	二	二	二	モレネー	三	三〇三	九	ジブラルタル	五	一、九〇三	五
オーストリア 君主國	六、三二八	四四〇、五六七	七					ルクセンブルグ大侯國	三、五六六	二四、六四五	九	イタリア王國	二八、六六二	三三三、三九八	二八
オーストリア帝國	三〇、一九三	二六二五、〇七八	八	ウィーン	八	八	八	フランス共和國	五、六六四	三八六、九四五	七	サンマリノ	六	一、一〇三	一八〇
ハンガリー王國	三、三三五	一九五、四五六	九	ブダペスト	九	九	九	モナコ公國	一、五	一、五八〇	一	マルタ	三〇三	二〇、二三四	六
リヒテンシュタイン公國	一、五九	九六五〇	六	バザツ	六	六	六	大ブリテン 聯合王國	三、四三九	四四七、七〇〇	一四〇	ギリシア王國	一六、九三〇	六三三、〇〇〇	三六
スウイス國	四、一四六	三三、五四四	八	バザツ	八	八	八	モナコ公國	一、五	一、五八〇	一	ヨーロッパトルコ(直轄地)	九、六三四	三七四、四三三	三六
												ブリガリア公國	五、一一〇	一五、一〇六	三
												ボスニアヘルゼゴビナ	八六八	三〇、三五三	五
												クレテ	三九三	一、二四〇	三
												サツス	九〇八	三、〇〇〇	二七
												モンテネグロ公國	四八〇三	二六、八七四	五
												セルビア王國	一三、三五三	五五、六九〇	四
												羅馬ニア王國			

境域

● ロシア

ロシア(露西亞)はヨーロッパの東部とアジアの北部より成れるが、ヨーロッパは本洲の過半を占めて我が國の約十二倍に當りロシア諸州、ポーランド、フィンランドの三部に分かる。

各	部	面	積	人	口	密度
ロシア諸州		四七、五三三	九四四、六六四	一九		
ポーランド		一二、七二七	九四〇、三三三	七三		
コーカシア		四七、〇二六	九三八、九三六	一九		
中央アジア		三六、七〇七	七五、六七八	二		
シベリア		二五、三〇〇	五七、〇七〇	〇、五		
アラル海		六、七六九				
カスピ海		四三、八六八				
ヨーロッパは北極洋、ボトニア灣、フィンランド灣、リガ灣、黒海、アゾフ海、等に瀕し、北極洋に						

地勢

氣候

るが、良好なる港灣多からず。

東部にはウラル山脈ありて、内部にはワルダイ臺地あれども地勢概平低にしてペチオラ、ドビナ、ボルガ、ドン、ドニエプル、等の諸流あり、殊にボルガは本洲の最長流にして其の下流には凹窪地あり、沼湖は北西部に甚多くラドガ、オネガの二湖最著はる。

氣候は大陸的にして、氣温は同緯度に於ける他の地方に比すれば遙に低く且急激に變化し、北部に於ける海洋は概

アゾフ海	三、七〇五		
フィンランド	七、三〇四	二八、二〇八	
バルタ	二〇、五〇〇	二五、〇〇〇	
ヒバ	六、〇〇〇	八〇、〇〇〇	
全ロシア國	三六四、〇六〇	一、三〇五、〇〇〇	六

カニン半島、白海、コラ半島、黒海にクリム半島、アゾフ海等の出入あ

実産



【アシロ】 フツテス

凍結す、雨量は西より東するに従ひて遞減し東部は夏季乾燥に失す、而して植物の分布上、北より南に進めばツンドラ、森林、無樹井に地中海的南方の四帶を見る、また動物には熊、馴鹿、各種の毛皮獸等あり、礦物に金、白金、鐵、石炭等あり。

ツンドラ帶は一に凍土帶と云ひ、概北極圈以北の地を占め、短期の夏の外は常に氷結して僅に蘚苔地衣の生ずるあるのみ、タイガ即森林帶は北緯六十五六度に起り、南西にありてはキエフ附近に達し、建築材、燃料、工藝用等に供すべきものを與ふ、無樹帶は森林帶の南又は南西に起り三部に分かる、其の黒土地方は當國の穀倉と稱せられ、其の可耕ステップは黒土地方の南にありて黒海に達し、其の不

住民

半環



モステップは海底の遺跡たる砂地なり、南方帶はクリム半島の南部より成り地中海的樹木の生育を見る。

民 住 部 南

部 北

全ロシアの人口は一億三千餘萬人ありて、其の八割許はヨーロッパに住す、黃色人種あるも主として白色人種殊にスラフ群に屬しロシア人、ポーランド人、フィンランド人等を含めり、又ユダヤ人も少なからず、宗教の中心にて最勢力あるはギリシア正教にしてローマ公教之に次ぐ、教育に就きては機關の備はらざるに非ざれ

生業

ども未盛況を呈するに至らずして無學の民少なからず。

農業は生業の首位を占めて黒土地方は多量の穀類を與

へ亞麻、大麻、馬鈴薯、煙草等の産亦

夥しく、牧畜亦盛に行はれて牛、馬

綿羊、山羊等飼養せられ、此等の中

にはヨーロッパ第一と稱せらる

るものあり又、林、鑛の二業にも見

るべきものありて、工業も漸次發

達しつつあり、貿易高は十六億ル

ーブルを超え主にドイツ、イギリ

ス等と取引し、穀類、木材、石油、鶏卵

亞麻等を輸出して綿器械、茶等を



〔アシロ〕 馬 農

政治

輸入す、交通は漸次發達して鐵道は外國并にコーカシア、中央アジア、シベリア等に通じ、河流は運河と相俟ちて大なる利便を與ふ而して冬季の氷結に際しては橇を走らしめ往來案外に不便ならず。

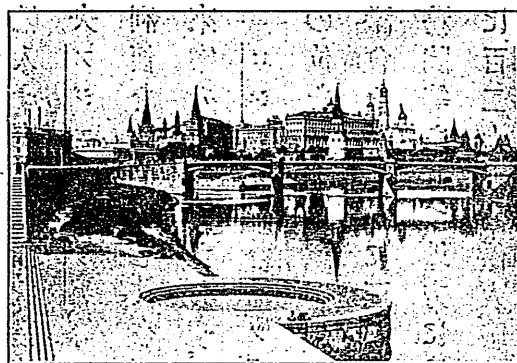
ロシアの皇帝は「ツァール」と稱せられ、フインランド大侯の位を兼ね、舊專制の國なりしが近年立憲と成り二院制の議會を設くるに至れり、行政に關しては中央に大臣會議、敎務院等ありて、地方には太守、總督、知事等を置く、陸兵は平時に百二十五萬餘人、戰時に三百六十餘萬ありて、其の數頗多く、海軍にはバルト海、黑海、シベリアの三艦隊の外、カスピ艦隊、義勇艦隊等あり、歳出は二十五億、ルーブルを超え巨額なること諸國に冠たり。

ペ
ラ
ル
ブ
ル

リ
ガ

モ
ス
ク
バ

モ
ス
ク
バ



モスクバ宮殿

ペテルブルグはペテロ大帝の創建に係り、全ロシアの首府なり、フィンランド灣に瀕し、ネバ河に跨り、時に洪水の患あるも、街路は端麗にして、道路廣濶、宮殿寺院は屹然として聳え、人口百四十餘萬に達し、世界屈指の大都會なり、運河に依りてバルト艦隊の根據地たる、クロンスタット港と相連なる、リガは、バルト河口に近く、同國屈指の商港たり、リバウはバルト海に沿ひ、氷結期短き軍港なり、モスクバはヨーロッパの殆ど中央に位置し、交通の大中心なるのみならず、

キ
エ
フ

オ
デ
ッサ

ワ
ル
シ
ア

ワ
ル
シ
ア

ワ
ル
シ
ア

境
域

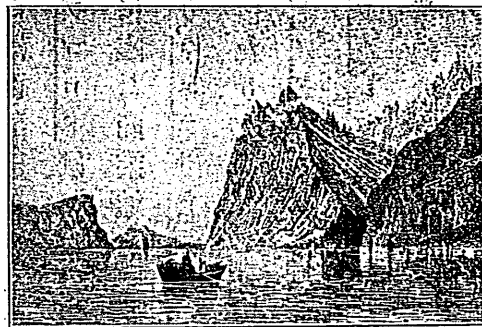
舊都の一にして、寺院頗多、クレムルの宮殿殊に名高し、人口は百萬に餘り、ペテルブルグに次げる大都なり、ニジニノブゴロドは年市の地として知らる、アストラハンはボルガに臨む商業地にて、オレンブルグはツラル河畔の鑛業地なり、キエフはドニエプルに瀕し、舊都の一にして、軍事上の要區たり、セバストポリはクリム半島にありて、戦史に名高し、オデッサは盛に穀類の輸出ありて、ロシア無比の商港なり、ワルシアはポーランドの舊都にて、ロシアは當國第一の工業地なり、ヘルシングフォルスはフィンランドの首府なり、

スカンデナヴィア

スカンデナヴィアはスカンデナブ種族の住域に當りて、

スカンデナヴィア

スカンデナヴィア及ユトランドの兩半島と其の間に於ける島嶼とより成れり。



(湖 峽) ドルコフ

も東部に陸候なり。

スカンデナヴィア半島は北より南向に突出し、我が國の二倍に近き面積を有す、海岸は屈折に富み、峽灣は深く陸地に侵入し、顯著なる山脈は西部に偏在するが爲に、河流は大西洋斜面にありては短小急流なれどもバルト海斜面に於けるものは稍長く湖沼頗多し、就中ウーテル最、大なり、氣候は西部に海候なれど

住民

半島の北部には黄色人の住するあれども住民は主としてサートン群に屬しキリスト新教を奉じ教育最、普及せり。

半島内に二の立憲王國あり、其の東にあるをスウェーデン、西にあるをノルウェーと云ふ、舊同一の君主の下にありしが一千九百五年を以て分離したり。

スウェーデン スウェーデン(瑞典)は平低にして湖沼多き地に位し、面積は畧我が國に等し、森林は國の過半を占めて木材の産に富み、従て製紙用木餅紙等の製造少なからず、鑛業は良質の鐵を採掘せり、林鑛の二業の外に尙牧畜耕種等の行はるるあり、木材、鐵、^{「バタ」}製紙用木餅等を以て主要輸出品とし、交通は南部に便なり、首府ストックホルムは風

ム
ストックホルム

スウェーデン

クリスチアニア

島嶼

色に富み、ゲテボルグはカテガット海峡の商港なり。
ノルウェー ノルウェー (諾威) は山岳峽灣に富める地にあり、世界屈指の豊魚地を西に控へ、鱈、鯨等の漁獲盛大なるのみならず、林業は多くの木材を與へ、運輸業甚發達し、商船の噸數は人口に比し最多し、而して魚類、木材、木具等は此の國の主要輸出品なり、首都クリスチアニアは同名の峽灣に源し、商工業の中心なり、ベルゲンは西岸にありて漁業の中心なり、トロニエムは當國の舊都たりし處なり。

デンマルク デンマルク (丁抹) はユトランド半島の北部とシェーランド、フイエーン等數多の島嶼とより成れるが、面積は大ブリテン島の北方に位する、フェル諸島を加ふるも我が九州島より小なり、土地は平低にして起伏少なく、沼地

コペンハーゲン

屬地

アイスランド

多く、また築堤に依りて僅に海水の侵入を防げる處あり、氣溫はスウェーデン、ノルウェーに比すれば稍高し。
 住民は概キリスト新敎を奉じて農牧を主とし、バター、肉類等を輸出す、王都コペンハーゲンにはシェーランド島の東岸に位し、要港の一たり、アールブスはユトランド半島の東岸にありて穀類、家畜の集散行はる。

デンマルクの屬地はアイスランド并にアメリカに於けるものを加ふるも約二十萬方料あるに過ぎず。

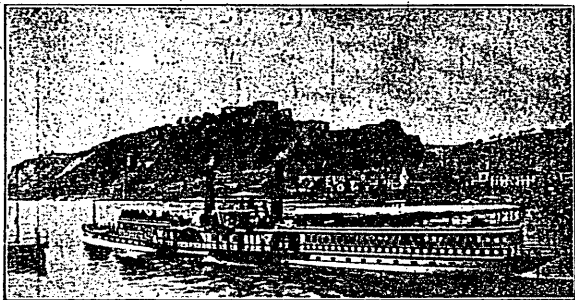
アイスランドは北極圈に接し、ヨロップ第二の大島にて面積は我が九州より大きく、内部は火山質臺地をなし、ヘクラ其の他の聳ゆるあり、溫泉處々に存し、大間歇噴騰泉殊に著はる、氣候寒冷にして氷河少なからず、魚類、硫黃等を産す。

境域

領土

土地

● ドイツ



[近附ツンレアコ] 河 ヌ イ ラ

ドイツ(獨逸)は中央ヨーロッパの北部を占めてバルト海并に北海に瀕し、ロシア、オーストリア、スウェーデン、フランス、ルクセンブルグ、ベルギー、オランダ、デンマーク等と境を接す。面積は我が國より大にして九分の十一に當れり。

海岸は屈曲に乏しく、土地は主として北に傾き、ドナウ河は東流すれども、ライン、ウエーゼル、エルベ、オー

デル、ウィスツラの諸河は北流して北海或はバルト海斜面に屬す。

ドイツの地は之を分ちて北、中、南の三部となすを得。南ドイツは南の方アルプ山脈に據り、北の方中ドイツの山嶺に達し、地勢高隆なり。中ドイツは肥沃なる草園耕地多く、礦産に乏しからず。北ドイツは主として北ヨーロッパの大平野に屬し、砂地、沼地、泥炭地、荒蕪地、森林地等に富む。

平野にありては西より東に赴くに從ひて寒暑の差愈強く、雨量漸次減少するが、西部并に南西部は氣溫稍高く降雨も少なからず。

人口は六千萬以上ありて密度は略我が國に等しく、外國就中アメリカへ移住するもの少なからず。而して住民の多數はドイツ人なるもスラブ、其の他の異種族存し。宗教上に於けるも新教信者は北部、中部に多く、舊教徒は南部、東部に

住民

氣候

ヨーロッパ ドイツ

生業

あり、教育は甚盛にして大學は二十一を數へ、學術上進歩發明の著大なるを以て名あり。
農業は北部、東部に行はれて麥類、馬鈴薯、甜菜等を産し、南部并に中部の森林は培養上世界第一の名あるが、牧業にも亦見るべきものあり、鑛業は多量の石炭、鐵等を與ふるを以て工業大に發達し、ビール、砂糖、鐵物、織物、化學品等の產夥しく、化學品、鐵物、綿布、石炭、器械、毛布等の輸出ありて貿易高は百三十億、マルクに達し、イギリス、オーストリア、ホンガリア、オランダ等と取引せられ、イギリスに次げる商業國たり、而して交通機關は發達し、鐵道に約六萬軒、商船に凡二百四十萬噸あり、キール運河は北海とバルト海とを連絡す。

政治

ドイツは立憲聯合君主國にしてプロシア、バウリア、ザク



ルンテンベルグの皇帝大像
（ベルリン）

ソニア、ウエルテンベルグの四王國を始とし、其の他、自治的の三十一邦より成るが、エルザス・ロートリンゲンは別の一の帝國領土をなす、而してプロシア王は帝國の「カイゼル」たり、行政權を始として條約の締結、宣戰、媾和等の權は皇帝に屬し、兵備、財政、通商、交通司法等の如き聯邦全體に關する法律の制定は聯邦會議と國會との共に司る所なり、兵備上世界屈指の強國にして陸軍の兵數は平時六十一萬餘、戰時五百萬、海軍に約五

十四萬噸あり、兵制殊に完備せりと稱せらる、歳出は二十四億「マルク」に近し。

ベルリンはエルベ河の流域にありてスプレー河に沿ひ、ドイツの帝都、ロシアの王都たるのみならず、學藝の大中心にして人口は二百萬を超ゆ、ハンブルグはエルベ河の右岸にありて世界商港の首位を爭ふ、マグデブルグはエルベ河の左岸に位し砂糖の最大市場たり、ドレスデンはサクソニアの王都にして美術史上著名の地なり、ライプチヒは書籍の出版を以て著はる、オーデル河畔のブレスラウは工業地として知らる、キールは兩海運河の東口に近く位する兵要の地なり。

ブレメンはウエーゼルの下流に臨みドイツ第二の商港

ベルリン

ハンブルグ

ドレスデン

ライプチヒ

ブレスラウ

ケルン

フランクフルト

ミッセン

殖民地

なり、エッセンはライン河の流域ルール炭田地に位し、クルツプ鐵工場を以て著はれ、ケルンは歷史上著名の地、交通上の要區にして蒸溜業盛なり、フランクフルトはマイン河畔にありて商業の中心なり、ストラスブルグはラインの支流に瀕し、軍事商業の要地とす、メッツはラインの支流たるモゼルに沿ひ戦史上に名あり、スツットガルトはウエルテンベルヒの王都なり、ミッセンヘンはドナウ河の支流に臨み「ビール」の釀造多く、バウリアの王都なり、ニールンベルヒは翫弄品、樂器等の産ありて南ドイツ屈指の市場なり。

殖民地はアフリカ、オセアニア、アジアの三洲に散在して面積は我が六倍に近きも人口は約四分の一に過ぎずして未利用せらるること少なし。

境域

殖民地	面積	人口	密度
トゴ	八、七〇〇	一五〇,〇〇〇	一七
カメルン	四、五〇〇	三三〇,〇〇〇	七
ドイツ領南西アフリカ	八、三〇〇	一〇,〇〇〇	〇、二
ドイツ領東アフリカ	六、五〇〇	七〇〇,〇〇〇	七
アフリカ部	三、三〇〇	一三〇,〇〇〇	五
ドイツ領新ギニア	四、一三三	四一、九六八	一、七
サモア	三、八八	三、二六二	二
オセアニア部	二四、六九	四、一〇〇	一、七
膠州灣租借地	五〇	一、二〇〇	二七
合計	二五、五〇	一七、〇〇〇	五

● オーストリア＝ハンガリア

オーストリア(奥地利)＝ハンガリア(洪牙利)君主國は中部

土地

住民

生業

ヨーロッパにありてドイツ、ロシア、ロマーニア、セルビア、トルコ、イタリア、スウイス、等諸國の間に介在し、南西僅にアドリア海に瀕す。面積は我が國の約一倍半あり。北東と南西とに山脈を控へ、其の中間にハンガリア平野ありてドナウの貫流するあるも、國土としては調和に缺くる所あり、氣候は到る處寒暑の差大なり。人口は五千萬に達せずして密度には甚だ平均あり、種族にはドイツ、マジール、チェヒ、等ありて複雑を極め、宗教にもギリシア正教、ローマ公教、新教、等あり、教育は盛にして住民の約四分の一はドイツ語を使用す。農、林、鑛、工、各業の行はるるありて穀類、木材、家畜、家禽、鐵、石炭、等を産し、砂糖、ビール、等を製し、鑛産に富めるボヘミアは

玻璃器を以て著はる、貿易高は凡そ四十億、クロネにしてドイツ、イギリス、イタリア等と取引せられ、木材、砂糖、家畜、穀類、鶏卵等の輸出あり、而して商船は四十二萬餘噸にして約四萬二千籽の鐵道備はる。

政治

オーストリア、ハンガリア君主國はオーストリア帝國とハンガリア王國との二國より成り、兩國に共通なる政務、外務、軍務、財務并にボスニア、ヘルゼゴビナに關する行政は各部の議會より選出せられたる代議員の司る所なれども、オーストリアとハンガリアとは各特殊の政治機關を有せり、兵備上は陸軍に平時の三十八萬餘人、戰時の百八十七萬餘人ありと雖、海軍は振はず、君主國の歳出は四億三千萬「クロネ」に近くして各部のものは合はせて三十一億なり。

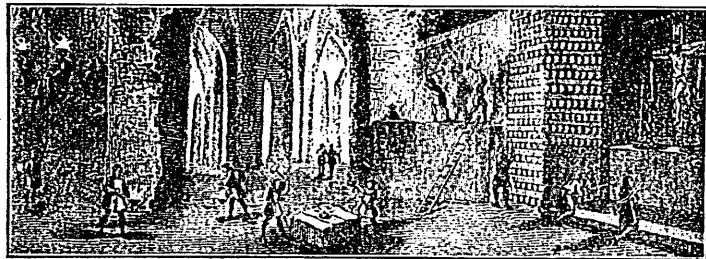
ウィーン

ブダペスト

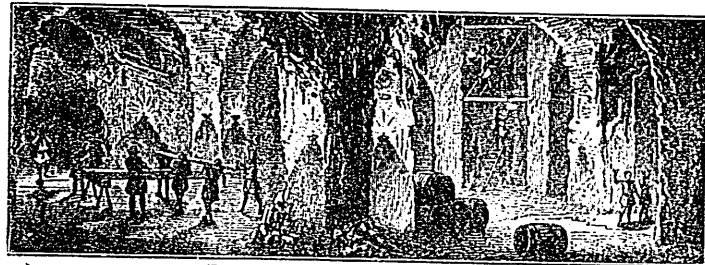
ブダペスト

ウィーンはドナウ河に沿ひ交通上の要區にしてオーストリアの首府なるが工藝にも見るべきものあり、人口凡そ百七十萬に達せり、グラツは冶金業の中心にして鋼鐵を製す、トリエストはアドリア海に枕み君主國第一の商港なり、ブラーグはボヘミアの首府にして絹布、羅紗、玻璃器等の産あり、ブリュッンはモラビアの首府にして絹布、マツチを製す、クラカウはガリチア平原、ヴィスツラの流域にありて舊ポーランド王國の首都たりし處とす、近傍のウィエリクツカに岩鹽の産あり、ガリチアの首府レンベルヒ、即ちルウオウは麻布、陶器等を製す、ハンガリアの首府たるブダペストはドナウ河に跨る、セゲデンはタイス河畔の商業地なり。

ボスニア、ヘルゼゴビナは自然的にはバルカン半島に屬し、政治的には



【カウジエーヴル】 堂會教の内坑



【カッグリエイリ】 掘採の鹽岩

トルコ領なれども、一千八百七十八年のベルリン條約は統治を君主國に委任したり。

◎リヒテンシュタイン
リヒテンシュタイン侯國はオーストリアとスウイスとの間にある小國にして、オーストリア、ホンガリア關稅同盟に加はり、該君主國の一部たるの觀あり。

◎スウイス

土地

スウイス(瑞西)はヨーロッパの中部に位し、ドイツ、オース

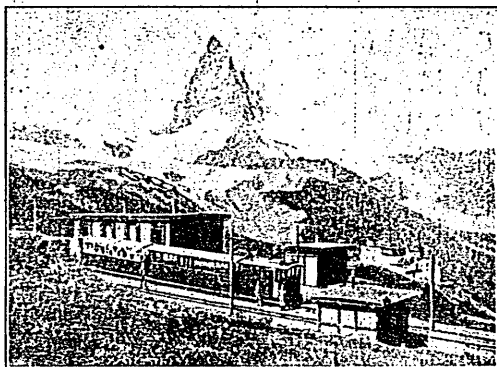
トリア、イタリア、フランスの四大強國を以て圍まるる小中立國にして、其の廣は我が九州に及ばず、當國は海に瀕することなく、アルプ、ユラの二山脈に據り、ライン、ローヌ、等の流出するを見、湖にはレマン、コンスタンツ、等風色に富めるもの多きも耕種に適するの地に乏しく、氣溫一般に低くして高山には積雪、氷河あり。

住民

總數三百三十餘萬の住民中にはドイツ語又はフランス語、イタリア語を用ふるものあるに拘らず、教育が普及せし結果にや和衷協同して業を勵み、牧畜と工藝との發達を促して綿布、絹布、時計等の輸出は生絲、穀類等の輸入を蔽ひて貿易高は二十五億、フランクの巨額に達し主としてドイツ、

生業

ベルン



登山鐵道

フランス、イタリアと取引す而して遊覽旅行に供する機關の整備せるは世界第一にして當國富源の一をなし、シンブロン、其他、長隧道は隣國との交通を便ならしむ。

シンブロン隧道は其の長、二、九七三〇米突世界無比と稱せられ、イタリアとの間に新通路を開きたり、また中部のゴタルド隧道（四、九九〇）はアルプの南北に於ける諸國間の交通を便にせり。

スウィスは二十五邦より成れる合衆共和國にして中央政府はベルンにあり、當國第一の都會たるチューリヒは同名の湖に沿ひて絹布の製造行は

れ、ラインに瀕するバゼルも生産力に富めり、ジューチーブは

レマン湖岸にありて時計の製造盛なり。

⑤ オランダ



ボデルラ（オランダ）

オランダ（和蘭）は我が臺灣より小さくしてドイツ、ベルギーと境を接し、北海に沿ひ、ゾイデルゼーと稱する大灣の凹入あり、土地平低にして「ボデル」の如き海面より低き處あり、國內を流るるライン、マースは多くの運河と相俟ちて交通の便を與

住民
生業

ふること大なり、氣溫は變化し易く濃霧屢起る。
住民はチクトン群に屬してキリスト新教を奉ずるもの多く人口の密度頗大なり、工業は盛ならざれども農業、牧業には見るべきものあり、殊に貿易は活潑にして世界屈指の商業國たるを失はず。

ハーグ
アムステルダム
ロッテルダム
ユトレヒト

ハーグは當立憲國の王都にして萬國平和會議を以て知らる、アムステルダムはジイデルゼーの南西隅に位して運河多く商業盛なり、ロッテルダムはマアス河に瀕し國內屈指の商港たり、ユトレヒトは國防上の要處にして大學校あり、羅紗、天鵝絨を製す。
殖民地は往古の如くならざれども今尙東印度及西印度に我が國の約五倍を存す。

	面積	人口	密度
東印度	一、九一五、七〇〇	三、七三、四〇〇	一九
ジャバ、マジャラ	一三、一五八	二、七〇、六三六	二八
其他(外領)	一六、三〇九	八九、七〇〇	五
西印度	一三、〇三〇	一、五、〇〇〇	一、五
合計	二、〇四、五〇七	三、七三、九〇〇	一九

● ベルギー

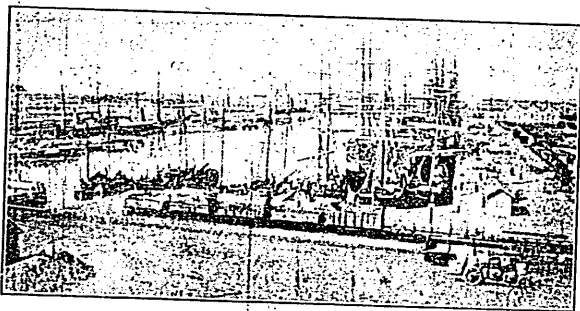
ベルギー(白耳義)はオランダ、ドイツ、フランス等と境し、僅に北海に瀕する中立國にして、面積はオランダより狹し、土地は平低にして河流にマアス、エスコーあり、氣候は西部に溫和多濕なるも東部は之に反す。

住民

人口の稠密なることは宇内無比にして密度は我が國の

生業

二倍以上に達せり、フレミシヤ語、フランス語等を用ひてローマ公教を奉じ教育盛なり。



河 港 [スルベンア]

農業は盛に行はれて穀類、亞麻等の栽培あり而して石炭と鐵とに豊富なるを以て工業は大に發達し鐵物織物等の製造多く鐵穀類器械等の輸出ありて貿易高は遙に我が國の上にあり交通機關の完備せると殊に鐵道の發達は世界第一と稱せらる。

當國は立憲政治の下にありて國會議員の選舉權は普通一般に之を

政治

享受するのみならず財力又は智力に應じて一票乃至三票の複票權を與へらる。

ブルッセル
アンベルス

ブルッセルは國の中部に位し王都の地にして商工業盛なり、ワートルローの戰地と相距ること遠からずアンベルスはエスユー河に臨み世界第四の商港なり、ガンは綿布、麻布等の産地なり、リエージュはマース河に沿ひ鑄物、兵器等の製作あり。

◎ ルクセンブルグ

ルクセンブルグ大侯國はベルギー、ドイツ、フランスの間に介在する小中立國にして住民はドイツ語を用ふ。

● フランス

フランス(佛蘭西)はベルギー、ドイツ、スウイス、イタリア、イ

境域

スバニア等と境して畧不正六角形を呈し、マンシウ海（イギリス海峡）、ビスカヤ灣、地中海は其の三邊に當れり、面積は我が國より大なり。

北西部にはブルターニヤ、コタンテンの二半島突出するも沿岸屈曲多からずして平低の地または卑濕の地に乏しからず、島嶼はコルシカを以て最大とす、山脈の主なるものはアルプ、ユラ、ボージッ（フオーゲゼン）、ピレネー等邊境にあり、中にもアルプにはモンブランの如き高峯聳ゆ而して中部にはオーベルニヤ諸山等なきに非ざるも、土地は一般に平低にしてセイヌ、ロワール、ローヌ等の諸河之を濕し、地味豊饒なり。

セイヌ河はフランス四主流の一なり、水源をコート・ドールに發し北西に

土地

住民

生業

向ひてパリを過ぎ遂に幅十軒の河灣をなしてマンシウ海に終る、長七百軒ありて水量の増減著しからず航行上に便益を與ふること多し。

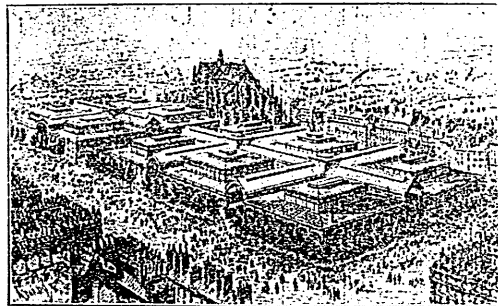
氣溫は中和を得て健康に適せり、北西にありては海候にして變化少なきが、中部殊に北東部は陸候にして寒暑の差強く、南西は稍溫和なるも南東は炎熱を覺ゆ、また南部に於ては夏季にアフリカより來るシロッコの熱風、冬季にローヌ谷の寒風ミストラルの吹き荒むことあり。

人口は四千萬に達せずして増殖は極めて緩慢なるも、種族は單一にしてローマ公教を奉ずるもの多く、教育は盛にして學制の備はれるを以て聞ゆ。

農業は小麥、馬鈴薯、葡萄、オリブ等を栽培し、養畜業は馬、驢、牛、羊、家禽、家蠶等を飼養し、工業は絹布、毛布、香水、殊に

政治

パリ



パリ市の中央

葡萄酒を製す、貿易高は九十億、フランスに近く、イギリス、ドイツ、アメリカ合衆國等と取引し、絹布、羊毛、皮革、毛織物、葡萄酒等の輸出あり、鐵路、運河、船舶等の交通機關は頗る備はれり。政體は統一共和制にして立法權は元老、代議の二院に屬し、行政權は大統領及內閣に委ねらる、陸兵に平時五十八萬人、戰時四百萬人あり、軍艦は七十五萬噸を越ゆ、兵備上世界屈指の強國と稱せられ、重税を負担する點に於ては其の比類多からず。首府パリはセイヌ河に跨り二百七十萬餘の人口を有す、建築の美

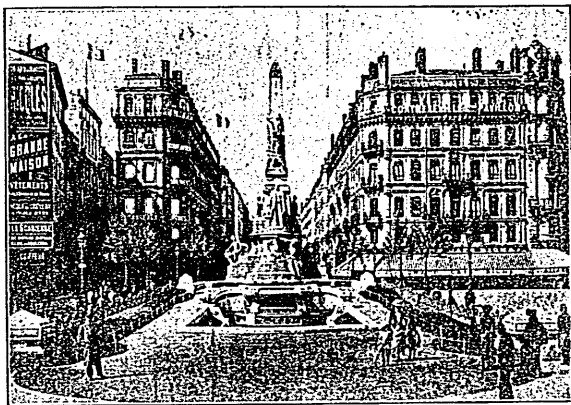
リ

ボルドー

麗なる街衢の廣濶清潔なる宇内に比なく、學藝、政治等に就きては世界屈指の中心たり、また此の地は一大軍府として周邊に胸壁を經ひ附近に十六處の砲壘を備ふ、本市に近きベルサイユは宮殿、庭園の壯觀を以て知らる、レンスは毛布製造の中心なり、ナンシーは繡箔を産す、リユはフランス第五の都會にしてルーベールと共に麻布の産地なり、カレールはイギリス海峡の最狹部に沿ひ之より約一時半にしてイギリスに達すべし、ルアーブルはセイヌの河口にありて上流のルーアンと共に當國有數の商港とす、シエールブル、ブレストは孰も軍港として名を知らる、ナントはロワール河の下流に瀕し造船業盛なり、ボルドーはガロンヌ河に臨み當國第四の都會にして葡萄酒の輸出を以て名高し、ツール

マルセイユ

リヨン



リヨン

て字内に著はる。

リズは商業地なり、マルセイユは地中海のリオン灣に沿ひ當國第一の貿易港、第二の大都會にして船舶、石鹼、等の製造行はる、ツィロンはフランス無比の軍港なり、ニースは保養地として名あり、センテチエンヌは産炭地に建てる工業地とす、リヨンはローヌ河に枕みフランス第三の都會にして絹布の製織を以

殖民地

殖民地はヨーロッパ以外の四大洲に亘りて我が國の二十四五倍に當れる面積を有す。

土	地	面	積	人	口	密	度
アルジェリア			八九、〇〇〇 _{九百}		四八〇、一四七五		五
チュニジア			一六、七四〇		一八二、〇〇〇		二
フランス領西アフリカ			一七、七四〇		二七〇、〇〇〇		七
サハラ			五三、七四〇		七九、〇〇〇		〇、一
フランス領コンゴ			一六、二〇〇		八五〇、〇〇〇		五
マダガスカル			五九、二〇〇		二六四、四六七三		四
其他							
アフリカ部			一〇一、二四七〇		三六〇、〇〇〇		三
印度			五〇九		二七、三八五		五四五
印度支那			六、七〇〇		一八二、五八八		二九
アジア部			六、四二〇		一九九、九七三		二九

ヨーロッパフランス

グアドルブ	一六三	一五、六〇六	六
マルチニク	九八	二〇、七〇二	二〇
フランス領グイヤナ	七、八九〇	三、三九八	〇、四
其他	...	...	...
アメリカ部	八、二〇〇	四三、八八九	五
新カレドニア	一、九八三	五、一八五	二、五
オセアニア領土	四、四〇	三、一〇〇	七
其他	...	...	...
南洋部	二、四三五	八、九〇〇	四
合計	一〇六、四〇〇	五三二、七〇〇	五

◎モナコ

モナコ公國は一方籽半の小邦にして半島を形成せるが氣候温暖、風色明媚、頗る娛樂の地たるに適せり。

◎イギリス

境域

氣候

住民

ブリタニア群島はヨーロッパの北西、大西洋中にあり、ドーバー海峡を隔ててフランスと相對し、大ブリテン、アイルランドの二大島并に數多の島嶼より成る、其の面積は我が國の三分の二強に當れり。
氣候は概し溫和にして變化少なく曇天多く濃霧屢起りて咫尺を辨ずる能はざることあり、殊にロンドン、マンチエスター等の如き市街の地には黃霧の爲に空氣の流通を妨げらるることあり、降雨は西部并に南部の山地に多し。
人口は四千四百萬を超え、密度は我が國より大きく、増殖速にして外國へ移住するものは毎年凡そ二十萬人と算せらる、而して國人の多數はチャートン群に屬してイギリス語を用ふれども、ケルト語も亦行はる、宗教はキリスト新教最

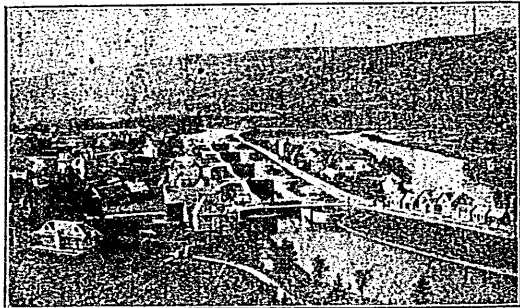
生業

盛なるが、アイルランド人は概^ルローマ公教を奉ず、教育は盛にして全國に普及せり。
 生業は各方面に發達して當國の富力をして偉大ならしめたるが、殊に商工の二業は空前の盛況を呈せり、其の原因たるや石炭と鐵とに富めるを第一とし、製作品の販路に當れる殖民地の饒多なるを第二とし、交通上の機關たる船舶を十分に備ふるを第三とし、國人に有爲、着實、忍耐、不撓等の美性あるを第四とす。

農業は穀類、馬鈴薯、亞麻、大麻等を與へ、牧畜も亦盛なり、工業には機械、兵器、船舶等の製作行はるるが、殊に紡織業は盛大にして綿絲、綿布、羅紗、麻布等を與ふ、貿易は世界第一にして輸出入總計は九億七千萬ポンドに達し、主要取引先は東

政治

政治



河運アニドレカ

印度、フランス、ドイツ、オーストラリア及、ニージーランド、アメリカ合衆國等にして主要輸出品は綿布、鐵器、石炭、器械、毛織物、化學品、綿絲等なり、商船は一千一百萬噸に近くして世界第一と稱せられ、鐵道に約三萬七千軒ありて世界屈指の鐵道國たり、運河の著名なるはカレドニア、マシチェスターの二なり。

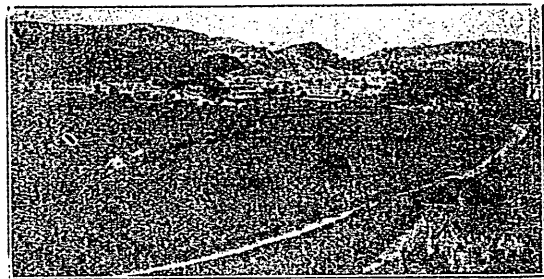
大ブリテン、アイルランド聯合王國は最古の立憲國なり、國會は貴族、衆議の二院より成りて、内閣は約二十人の大官より組織せらる、海軍は列國の上に出て新式軍艦は凡百

大ブリテン島

八十萬噸と算せられ、陸兵は平時に約二十六萬人あり。
大ブリテン島はヨーロッパの最大島にして約二十二萬
方料の面積を有し、海岸頗る發達して優良なる天然港を呈し、
強勢の潮汐は河江の下流をして有用なる河港を呈せしめ、
以て海洋的生活を島中に普からしめたり。

本島はスコットランドとイングランド、ウェールズと
の二部に分かる、スコットランドは北部を占め、峽灣、峽湖に
富み、地勢上南北の兩高地は中間に中央低地を挟み、グラン
ビア山脈の最高峯をベンネビスと云ふ、イングランド、ウェ
ールズは大ブリテン島の中央以南の地を占め、西及北西の
部は鑛床に富みて工業に適し、南東及東の部は農牧の地た
るを失はず、河流にハンバー、ティームス、セバーン等あり。

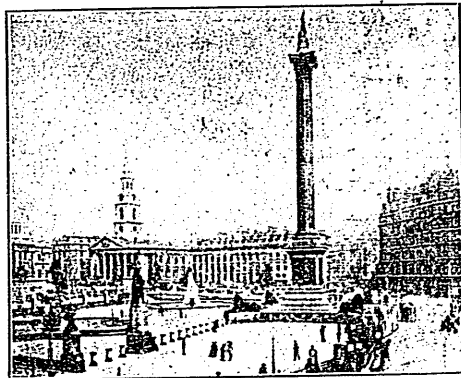
ロンドン



草圖 [チヌスダ附近]

ティームス河は大ブリテン島の最要流にして
四百五十浬の長を有す、河幅はロンドン橋附
近に於て約三百米突あり、下流は漸次砂泥の
妨害する所と成らざるに非ざるも、ロンドン
に對しては缺くべからざる大動脈なり。

ロンドンはティームス河に跨り、シ
チー、ウエストミンスター、グリニチ、
等數多の市街の集合にして、住民は
四百七十萬に近く、聯合王國の首都
たるのみならず、人口、富力、商船、商業
工業等に依りて世界第一の市街た
り、宮殿、寺院、家屋等の建築は美ならざるに非ざるも、また街
路、橋梁、公園等の設備は完からざるに非ざるも、船渠、倉庫、工



【ロンドン】 図公ルガリアフラト

場等の廣大なるは天下に其の比を見ず、工藝の中心としては各種の製品を與へ、世界の最大市場としては商權を握りて五大洲に號令するのみならず、文學科學の社會に於けるも第一流の都府たり、またギリニチは本初子午線の地なり。

ケンブリヂ并にオクスフォードは大學を以て著はる、ボーマス、ブリュマースはイギリス海峡の軍港なり、プリストルはセバーンの支流に瀕する大商港とす、バーミンガムはイングランドの畧中央に位し冶金業の一大中心なり、レス

ム
バー
ミン
ガ

ロ
ン
ド
ン

ド
シ
エ
フ
イ
ー
ル

マン
チ
エ
ス
タ
ー
リ
バ
プ
ー
ル

エ
デ
ン
バ
ラ
グ
ラ
ス
ゴ
ー

ターは毛織の産地なり、ノッチンガムには、レース、靴足袋の製造盛に行はる、シエフイールドに鋼鐵、刃物の産あり、ブラドフォードは紡織の地なり、リーツは毛絲、羅紗等の製造を以て知られ、ハンパー河灣に瀕するハルは捕鯨根據地にして屈指の商港とす、タイン河畔のニッカーカッスルは石炭の輸出を以て知られ造船業盛なり、此の地にアームストロング會社あり、マンチエスタールは石炭の産地に建ちて綿布の製造盛大を極め製品は地球の各地に普及す、リバプーはマーシー河灣に沿ひ綿布の大市場にして王國中ロンドンに次げる通商地なり。

カーチフはセバーンの河口に臨み優良の石炭を輸出す、エデンバラは舊都の地、學術の中心なり、グラスゴはク

よりろつば洲 イギリス

アイルランド島

ライド河に跨り王國第二の都會にして工業殊に造船業盛大なり、ダンヂーは帆布、網具の製造を以て著はる。
アイルランド島は本洲第三の大島なり、アイルランド海を隔てて大ブリテン島と相對し、同海は北水道とセントジョージ水道とに依りて大西洋に通ず、沿海地に隆起せる處ありて南西部に出入多きも内部は概平低にして彼處此處に湖沼あり、南西に流るるシェンノン河はブリタニア群島の最長流なり、地味肥沃にして農業に適するが工漁の諸業も亦行はる、而して住民が種族、宗教、等を同じうせざる所あるが爲か、アイルランドと大ブリテンは充分に融和せざるものの如し。

ダブリン

ダブリンは舊都の地にてアイルランドの最大都會なり、

ペルファスト殖民地

ペルファストは北水道の一灣に臨み亞麻布を産す、イギリスは殖民事業上比類なくして我が國の六十餘倍大の地は五大洲に散在し、或は天産國として原料を供給し或は消費地として製品を需要し以て本國の繁榮を促せり。

土	地	面積	積	人	口	密度
ジブラルタル			五五	一、九〇三		六七
マルタ			三〇三	二〇、二三四		六七
キプロス			九六〇二	三、四、八一四		六
地中海部			九九〇九	一、六九三五〇		五〇
印度帝國		四八二、六〇〇		二、九五三一、三〇〇		六四
セイロン		六、五九三		三八一、二九三		五
海峽殖民地		三、五九三		五九、六四八六		一五二
北ボルネオ		八、〇五二		一六、〇〇〇		二
香港		七九		三六、五〇〇		一

よゝろつば洲 イギリス

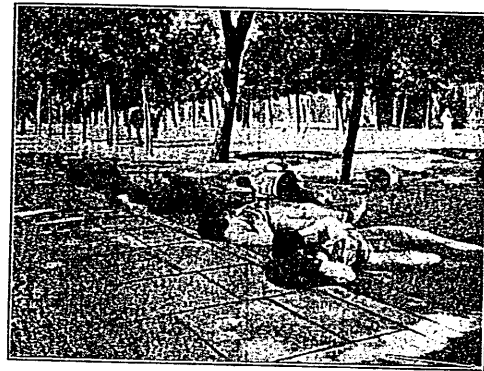
其 他	...	...	...
アシア部	五九、一七〇〇	三、〇〇三、五〇〇	五
黄金岸	三〇、八七〇	一四、六四三	五
東アフリカ	四六、七〇〇	五〇〇、〇〇〇	八
ウガンダ	三、一五〇	一八、八二五	八
ザンジバル	二、四〇〇	二五、〇〇〇	五
ケープ殖民地	七、七六八	二四〇、九八〇	三
ベチワアナランド	六四、八四〇	二、〇七五	〇、三
オレンジリバー	一一、二二〇	八、七三三	三
トランスバール	三〇、五二三	一五、四二〇	四
ローデシア	一〇、八、〇〇〇	一五、〇〇〇	一、二
其 他	...	...	...
アフリカ部	五三、四、一八〇〇	四、三三、〇〇〇	八
カナダ	九六、九七〇〇	五六、〇三六	〇、六
ニッポフアウンドランド	一一、〇七〇	三、二、三三	二
其 他	...	...	...

● イベリア

アメリカ部	一〇〇、二、八七〇〇	六七、〇六四	〇、七
オーストラリア聯邦	七九、九〇九	四三、一五〇〇	〇、五
ニッージーランド及屬地	二七、一〇五九	九、二七四	三
フィジー、ロツマー	二、〇〇五	一、一、七三三	六
サロモン諸島	三、三九〇〇	一、四、〇〇〇	四
其 他	...	...	...
オセアニア部	八五、七三〇	五五、七〇〇	〇、六
總 計	二八二、九六〇〇	三、五五七、〇〇〇	一三

イベリア半島はヨーロッパの南西にありて大西洋と地中海との間に位し、ジブラルタル海峡を隔ててアフリカと相對す、面積は我が國より稍大なり、海岸は屈曲に乏しく、山脈には北境のピレネーを始とし、カンタブリア、シエラモレ

カシエラネバダ等數脈あり、内部は一帯の高地を爲して低地に乏しく、地中海斜面にエプロ河あり、大西洋斜面にドイロ、タホ、グアデアナ、グアダルキビル等あれども概水量多からずして交通の便を缺けり、氣候は臺地にありては寒暑の差甚大にして降雨少なく、地中海沿岸は暑氣強くして乾燥なるが、大西洋沿岸は濕潤にして溫和なり、住民はアフリカの分子を混じ概ローマ公教を奉じて教育盛ならず。



(睡午)ヌスニシの下樹るけ於に候の夏炎
【フーリドマ】

本半島には政治上イスパニ

ア、ポルトガル、アンドラ、イギリス領の別あり。

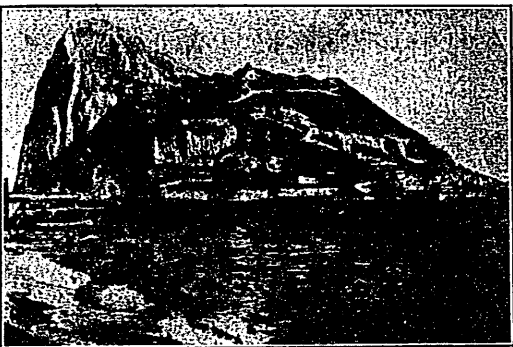
イスパニア

イスパニア(西班牙)王國は半島の大部を占めて、面積は我國より廣く、住民は農、鑛、工等の諸業を營み、鐵、葡萄酒、銅、鉛、果物等の産あり、首府マドリッドは炎夏の地にあり、水に乏し、著名なる博物館を有す、地中海岸のバルセロナは國內第一の商業地にしてまた盛に織物を製す、バレンシアに絹布の産あり、グラナダは歷史上有名の地なり、此の國の殖民地は往時に廣大なりしも、現今はアフリカに少しく殘留するあるのみ。

ジブラルタル

ジブラルタルはイギリスに屬す、地中海の咽喉たるジブラルタル海峡に面する小半島にして堅固なる砲臺の設あり。

リスボン



ル タ ル ラ ア ジ

ポルトガル 葡

牙は半島の西部を占むる立憲王國にして面積は我が北海道より小さく、葡萄酒「ユルク」等の輸出あり、首府リスボンはタホ河の口に位して軍港と商港とを兼ね、オポルトはドイロ河に沿ひ葡萄酒を輸出す。

今尙アフリカ、アジアに於て我が國の五倍に近き土地を有せざるに非ず。

土地面積	人口	密度
------	----	----

ギニア	三、三九〇〇	一七、〇〇〇	五
アンゴラ	二、七〇、〇〇〇	三、〇〇、〇〇〇	三
モザンビク	六、二〇〇	三、〇〇、〇〇〇	三
アフリカ部	二、〇、〇〇〇	六、四、〇、〇〇〇	三
アジア部	一、九二八	八、〇〇〇	四〇
合 計	二、〇、〇〇〇	七、二、〇、〇〇〇	三

◎ イタリア

境域
イタリア半島

イタリア(伊太利)は南ヨーロッパの中部にありて面積は我國の三分の二に近く、イタリア半島、シチリア島、サルデニア島等より成れり。

イタリア半島はアドリア海、チレニア海等の間にありて海岸の屈折少なからず、アルプ山脈は北境に亘り、アペニン山脈は半島の脊骨たり、而してベスビオ、エトナ等有名なる

氣候

火山あり地震屢起る、河流には北部のロシバルデア平野を流るるポーあり、古來有名なるチベルあり。

北部は陸候的なるを以て嚴寒酷暑を覺えざるに非ざれども、南下するに従ひて氣候は地中海的と成りて冬季溫暖にして晴天多く時にシロコ風の吹き荒むことあり。

住民はラテン群に屬してローマ公教を信奉し、教育も盛ならざるに非ず、人口は三千四百萬人に近く、密度は我が國より稍大にして増殖著しく、毎年アメリカ合衆國アルヘジチナ等海外に向ふもの多し。

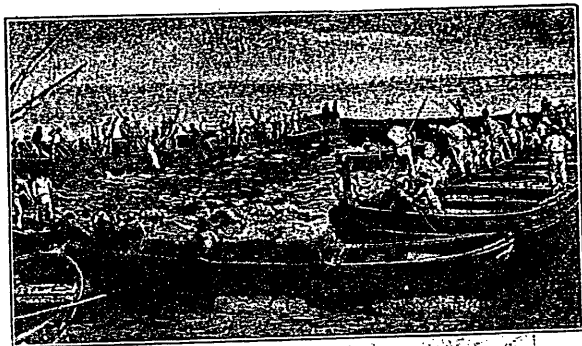
農業は富源の主力にして稻麥、殊に葡萄、オリーブ等の栽培あり、鑛業は大理石、硫黃等を與へ、工業は絹絲、絹布等を製すること多く、貿易高は約三十八億リラにしてドイツ、イギ

生業

地

地

政治



海近の島アニサレサの風景

リス、デメリカ合衆國、フランス等と取引せられ、主要輸出品は蠶絲、綿布、絹布、木製及草製品、オリーブ油等なり、鐵道、商船等交通機關は備はれり。

立憲君主國にして、元老、代議の兩院、内閣あり、兵備、上屈指の強國と稱せられ、陸兵は平時に約二十九萬、戰時に約三百三十二萬ありて、軍艦も四十二萬噸以上に達し、國債少なからず。

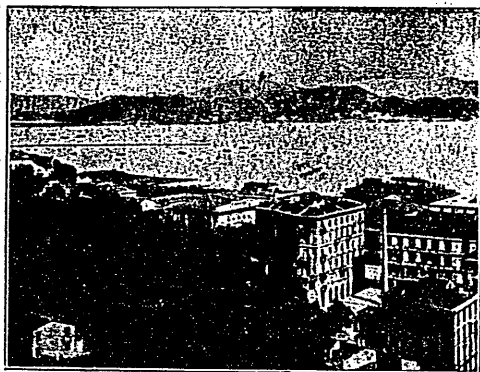
ローマはチベル河に跨り、イタリ

アの首府、ローマ法王の居住處にして、歴史上著名の地たり、

ナポリ

トリノ

ミラノ



アチパス

寄石細工、彫刻物等を製す、ナポリは同名の灣に瀕して近くベスビオ山を望み當國の最大都會にして商業稍盛なり、フレンツはアルノ河に沿ひ美術史に名あり、ボローニは學術の中心なり、ジェノバは地中海屈指の商港にして軍港を兼ね、スペチアに當國第一の軍港あり、トリノはポー河の流域にあり學藝の中心たるのみならず、兵器絹布を製す、ミラノはナポリに次げる都會にて交通の要地、織物の產地なり、ベネチアは潟地に建設せられたる市街にして宮殿、寺院等の建築物を以て名を知らる。

パレルモ

殖民地

バレタ

パレルモはヨーロッパ屈指の大島なるシチリアの北岸に位し商業地として著はる、メシナは同名の海峡に瀕する商港なり、エルバ島は小なれども其の名史上に著はる。殖民地はアフリカ洲の北東部にありて我が國より稍大なるも未だ發展するに至らず。

● マルタ

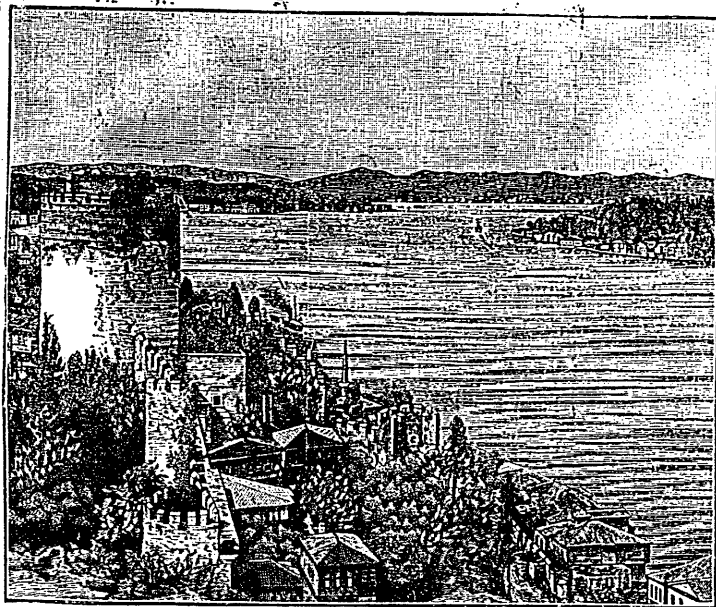
マルタはイギリスに屬してマルタ島、其の他の二島を含む、首府バレツタはマルタ島の北岸にあり、軍港は地中海艦隊の根據地にして、商港は百貨を集散す。

● バルカン

ヨーロッパ 洲 マルタ バルカン

土地

産業



ホロス海峡—コンスタンチノープル

バルカン半島は
ヨーロッパの南東
部を占め黒海、ボス
ボロス海峡、マルマ
ラ海、ダルダネル海
峡、エーゲ海、地中海、
イオニア海、アドリ
ア海等に瀕し面積
は我が國より大なり。
海岸は屈曲に富
み、島嶼甚多し、内部

氣候

住民

分國

は平地少なく山地到る處にありて、主なる山脈をバルカン、
チナルアルプ、ピンドス、等とす。河流にはドナウ、河の本支流
以外にマリツァ等あり。

氣候は一樣ならず、ブルガリアの平野にありては寒暑の
差烈しく、高地に於ては冬季嚴寒を覺ゆれども、ボスボロス
海峡、マルマラ海の沿岸に於ては氣溫和く晴天多し。

本半島は數多の種族が集居雜住する處にしてセルビア、
ブルガリア、モンテネグロ、ギリシア、アルバニア、ローマーニア
等の白色人あり、トルコの如き黄色人あり、ギリシア正教、
イマム教、マホメット教等行はる。

本半島は舊擧げてトルコに屬せしが、十九世紀に及びて
ギリシア、セルビア、モンテネグロ、ブルガリア、ボスニア、ヘ

ルゼゴビナ等の分離するを見るに至れり。

ギリシア **ギリシア**(希臘)國はバルカン半島の南部を占むる小國にして、南部をモレア半島と云ふ、沿岸には島嶼多く、内部には山岳縦横に走りて起伏は錯綜を極め平地少なし、住民は葡萄、其の他の果樹を栽培し、又商業運輸に従事し近時、コリント運河の開鑿を見るに至れり、政體は立憲的にして一院制の議會を備ふるが國勢は未振はず王都アテナは遺蹟に富みてピレウスはアテナに近き商港なり。

トルコ **トルコ**はヨーロッパ、アジア、アフリカの三大洲に跨る一大帝國にして我が國の九倍以上に當れり、君主「スルタン」は回教教主を兼ね、住民は「マホメット」教を奉じ農牧を主業とす、輸出品には蠶絲及繭、穀類及穀粉、葡萄、等ありてイギ

アテナ

リス、フランス、オーストリア、ロシア、等と取引し、交通は漸次進歩するものの如し。

所	領	面	積	人	口	密	度
直轄地							
ヨーロッパ部			二九八、七二〇〇	三、〇三二、八九〇	八		
アジア部			一六、九三〇〇	六三、〇〇〇	一〇		
アフリカ部			七六、六〇〇	一六九、八〇〇	一		
貢國			一〇五、二〇〇	一〇〇、〇〇〇	一		
ブルガリア			一〇九、二五〇	一、三三三、三〇〇	一三		
東ルメリア			六、三五一	二六四、四三九	四二		
サモス			三、三九四	一〇九、九八四	三三		
エジプト			四六八	五、四八四	一七		
サッス			九八、四三〇	九八、二〇四	九		
外國所管			三九三	一、二四〇	三		
バルカン			六九三九	二二、六〇二	三三		

ヨーロッパ

コンスタンチノブル

サッス

クレテ

首府コンスタンチノブルはボスボロス海峡に臨み航通上最要の地に位し東方貿易の一大中心なり、宮殿寺院は壯觀を極む、アドリアノブルに香油の産あり、サロニキは農産を集散し國內第二の商港たり。

サッスはエーゲ海最北の島にしてマケドニアの海岸に近くエジプトに屬せり。

クレテは地中海屈指の大島にしてモレア半島の南東にあり、トルコの主權に屬すれども、イギリス、ロシア、フランス、イタリアの四強國の監督の下に自治す、首府をカネアと云ふ。

ボスニアヘルゼゴビナ	五、二一〇	一五、一〇六	三
クレテ	八六八	三〇、三四三	五
キプロス	九〇二	三、七〇三	五
トルコ帝國	二、四八、八〇〇	三九〇、〇〇〇	九

ソフィア

ベルグラド



ニエグス峠(モネテネ)

ブルガリアはドナウ河の南にありてトルコの屬領たるの名あれども、其の實獨立の立憲公國にして東ルメリアを兼轄す、生業は農牧を主とし、首府ソフィアは交通の要衝に當れり。

モネテネグロ

公國は山地に據れる小立憲國にして僅にアドリア海に臨み牧業行はる、首府をチエチエと云ふ。

セルビア

セルビア王國はバルカン半島北部の中央にある小立憲國にして、農産、鑛産等あり、首府ベルグラドはドナウ河とサベ

河との合流地に建ち、交通、軍事、商業等に關する要地なり。

ロマーニア　　ロマーニア王國の要部はドナウ河の左岸にありてドブルヂャのみは半島に屬す、平地に富み河流多し、舊トルコの貢國なりしが一千八百七十八年以來獨立して立憲王國と成れり、農牧行はれて穀類、果物、等を與ふるも工業は極めて幼稚なり、貿易は主にオーストリア、ホンガリア、ドイツ、イギリスと取引せられ麥粉、果物、野菜等の輸出あり、首府ブカレストはドナウ河の支流に瀕す、ガラツは王國第一の商港にして穀類の集散地、ドナウ委員の駐在地なり。

ブカレスト

よゝろつば洲終

あふりか洲

●總論

境域

アフリカ(亞非利加)洲は舊大陸の南西部を占む、其の大陸部は北東の方、スエズ地峽に依りて僅にアジア洲に連なり、紅海を挟みてアラビアに接し、東及南東は印度洋に沿ひ、西は大西洋に面し、北は地中海を隔ててヨーロッパ洲と相對し、其の島嶼部はマダガスカルを始とし若干の島嶼より成れり、本洲の面積は約三千萬方呎ありて我が國の凡そ六十七倍に當る。

大極北	フランコ岬	北緯	三七	二〇
陸極南	アグリッス岬	南緯	三四	五一

あふりか洲　總論

海岸

海岸線の發達は五大洲中最、不完全にして港灣に乏しく、沿岸には岩礁沙洲多きも島嶼の大なるもの少なし。

四極東	ハフン岬	東經	五一	二八
極西	ベルデ岬	西經	一四	三五
印度洋	紅海スエズ灣	アデン灣	ソフアラ灣	デラゴア灣
地中海	シドラ灣	ガベス灣		
大西洋	ギチア灣			
海峽	バブエルマンデブ	モサンビク	ジブラルタル	
地角	東部	グアルダフイ	ハフン	
	南部	アグリアス	喜望岬	
	西部	ベルデ		
	北部	アランコ		
地峽	スエズ			
島嶼	印度洋	ソコトラ島	マダガスカル島	マスカレニアス諸島

地勢

内部は大高原をなして周圍に山脈を繞らせり、北アフリカ高原は東西に長くしてサハラ沙漠を含みアトラス山脈



高原マリスガス

アビシニア地方は山岳に富む而して、南アフリカ高原は南北に長く東、南、西の三面には高隆の地を控へて内部にカラハリ沙漠を包み東方に於ける

山脈中にはキリマヌデ、アロケニア等の高峯聳ゆ。

河流

河流にはニール、ニジェル、コンゴ、オランイェ、ザンベジ等の如き著大なるものあれども、航通上の利便を與ふること多からず、また閉塞地に終るもの少なからざるなり。

北アフリカ		南部		東部		南部		西部	
アトラス山脈	アサシ(四三〇〇)	アビシニア山麓	ラスダシアン(四六二〇)	ケニア(五五二〇)	ルウェンゾリ(五一二〇)	キリマヌデ(六〇一〇)	ドラケンベルグ山脈	シアンバーニヤカッスル(三六五〇)	オマタコ諸山
ニール	五五〇	ニジェル	四二六	コンゴ	四三〇	オランイェ	一八六	ザンベジ	一六〇〇
流域	三六七	支	三六七	支	三六七	支	三六七	支	三六七
流	ニール	アトラス	アサシ	ケニア	ルウェンゾリ	キリマヌデ	ドラケンベルグ	シアンバーニヤ	オマタコ

ニール河



河ルーニと(鱷)ニ

ニール河は本洲第一の長流なり、本流たる白ニールは水源をウケレウエ湖に發す、鬱鬱たる樹林の間に隠見し、又ほ峽谷に入りて奔流し、バールエルアラ

コンゴ河



訓 一 ア

イ青ニール、アトバラ等を受け、約二十處の瀑流に依りて階段の地を降り、沙漠の地をS字形に流れ、有名三角洲を抱きて地中海に入る。本河の増水は毎年六月二十日頃に始まり、九月二十五日頃最高に達す、而して十月下旬頃より減水を始め、六月に至りて最低となり、肥力に富める土砂を沿岸の地に遺棄してニールをしてエジプトの父たるの實あらしむ。

コンゴ河は本洲第二の長流なり、水源をタンガニイカ湖の南方に當る山岳に發し、北流して赤道以北に入り、再び赤道以南の地に戻

湖沼

氣候

湖名	面積	海拔
ウクレウエ	六、八五〇〇 方尺	二、〇〇〇 米
タンガニイカ	三、五二〇〇	八四〇
ヌヤサ	二、六五〇〇	四八六
チャード	二、〇〇〇〇	二六二

りてギチア灣に朝す、スタンリープール、リピングストン等の瀑流あれども水量に富むを以て灌漑の利あること大なるのみならず、交通上の便を供することも亦少なからざるなり。

湖沼にもウケレウエ、タンガニイカ、ヌヤサ、等著大なるものありて東部に密集せるが、チアーデは内部に孤立せり。

ウケレウ^エ湖は、ビクトリアヌヤンザとも云ふ。スベーク之を發見し、スタンリー之を探検し、世界第二の淡水湖と稱せらる。

チ ア ー デ	ヌ ヤ サ	二、五〇〇	四〇
二、〇〇〇	六三		

東方スーダン

氣溫は概^ハ高くして紅海沿岸及^クア

も、大陸の兩端には中和の處あり、降雨の配布は均一ならずして赤道の南と北とに乾燥を極むる一帯の地あるが、ギネ

灣沿岸、大湖地方等、は濕度高し。

天産
住民

礦物には金、金剛石等あり、植物には巨樹として有名なる「バオバブ」を始とし、「ナツメヤシ」、「アフギバセオ」等あり、動物には「ゴリラ」、獅子、象、犀、河馬、斑馬、麒麟、鰐、駝鳥等あり。



人口は二億に達せず、其の配布は極めて不均なり、而して白色種は主に北部を占

生業

め、黑色種はスーダン及南アフリカに居住せり、またマダガスカル島にはマライ人あり、而してマホメット教徒(七千萬)は赤道以北に勢力を有し、自然教はギネア地方并に南アフリカの内部等に行はる、此の他にキリスト教(九百四十萬)、ユダヤ教(三十萬)の信徒あり。

人種	派	
	西方	ギチア
黑色	ニグリチア	西方
	バンツ	西方
白色	チグロ	西方
	ホッテントット	西方
白色	ハム	西方
	ベルベリア	西方

本洲土民の生活の情態に就きては遊牧と定住との二種ありて、狩獵、牧畜、耕種等の外は未廣く行はれず、而して交通の便多からざるは勿論なれども、縦貫鐵道は工事次第に歩

を進め、内部のヌヤサ湖も汽船の往來あるに至れり。

本洲は從來暗黒世界と稱せられしが、近世多くの探検を経て内部の事情漸明らかと成れり、而して二三の獨立國なきにしもあらざれども國勢振はずして本洲は大抵ヨーロッパ諸國の勢力の下にあり。

大				部	
部		北		地	方
サハラ		ベルベリア	北東	トルコ領 エジプト トリポリ	邦
イギリス領 フランス領	イギリス領 フランス領	イスパニア領	モロッコ國	アラビア アルジェリア	土
五〇、七五〇、〇〇〇	一八五、〇〇〇	三三	四三、九三四〇	一六、七四〇〇 八九、〇〇〇 四八〇、一四七五	面積
五〇、七五〇、〇〇〇	一八五、〇〇〇	三三	四三、九三四〇	一六、七四〇〇 八九、〇〇〇 四八〇、一四七五	人口
五〇、七五〇、〇〇〇	一八五、〇〇〇	三三	四三、九三四〇	一六、七四〇〇 八九、〇〇〇 四八〇、一四七五	密度

陸															
部					中										
東 ア フリ カ		ソ マ ー リ		ア ビ シ ニ ア		ス ー ダ ン									
ドイツ領	イギリス領 ウガンダ ザンジバル	東 ア フリ カ	イタリヤ領	イギリス領	フランス領	エチオピア國	イタリヤ領	エジプト領	ドイツ領	ホルトガル領	イギリス領	フランス領	リベリア共和國	イスパニア領	
九四、六五〇〇	二六四〇	四六、七五〇〇	三八、〇〇〇〇	一五、五〇〇〇	二、一一〇〇〇	一三、〇〇〇〇	五、〇〇〇〇	二四、〇〇〇〇	五、二二〇〇	三、三九〇〇	七、四六三六	一七、七四〇〇	九、五四〇〇	一八、五〇〇〇	
七〇、〇〇〇〇	三五、〇〇〇〇	四〇〇、〇〇〇〇	〇、〇〇〇〇	二、五、三〇〇〇	五、〇〇〇〇	二七、九五五二	八〇、〇〇〇〇	一〇、〇〇〇〇	五、〇〇〇〇	一七、〇〇〇〇	二九、〇、三二九	二七、〇、〇〇〇	一五、〇、〇〇〇	一三、〇〇〇〇	
七	九五	八	一	一	三	二	一五	五	九	五	四〇	七	一五	一	

部				
南		北		
端	東岸	中央	西岸	コンゴ
イギリス領	ポルトガル領	イギリス領	ポルトガル領 ドイツ領 (イギリス領)	コンゴ獨立國 フランス領 イスパニア領
ケープ		ベチアアナランド ローデシア 中央アフリカ		
七、七六八	六、二〇〇	六、八四〇	二、七〇〇	二、八、六〇〇
二四〇、九八〇	二、〇〇〇	一、〇七六	二、〇〇〇	一、九〇〇、〇〇〇
三	三	九	三	八

部		島	
太西	洋	印度	洋
イギリス領	イスパニア領	フランス領	イギリス領
三六	九八八	七九四	六九二
三九四	四、九三〇	五、六九三	四、六八三
三	七	五	七

●北部

北部は三面に海を控へ北東ベルベリア、サハラの三地方より成れり。

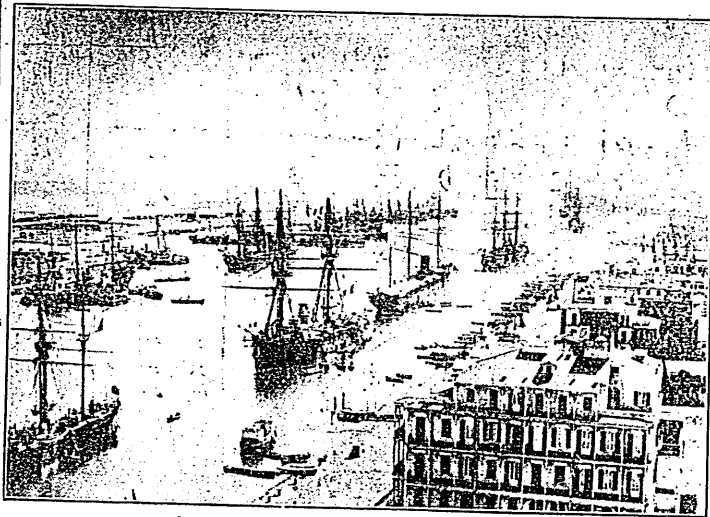
北東地方はエジプトとトリポリとより成りてトルコに屬せり。

エジプトは平低にして山岳に乏しく、リビア沙漠、ヌビア沙漠の如き不毛の地多きも、ニール沿岸并に三角洲は肥沃

エジプト

あふりか洲 北部

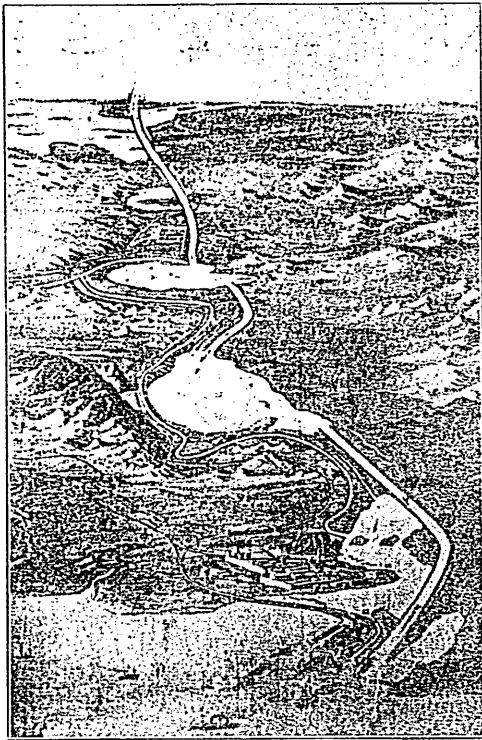
カイロ



ボート・ドイサ・エジプト

なり、氣候は寒暑の差極めて少なく降雨稀なり、住民にはフェルラー人、アラビア人等の白人多く、農を業として綿穀類等の産あり、名義上トルコの主權の下にあるも、監督權を有するイギリス人は百般の政務に干涉す、首府カイロはアフリカの最大都會なり、近傍に古代の遺蹟少な

スエズ運河



スエズ運河

年工事に着手せられ一千八百六十九年に竣工せり、其の開鑿には數湖を利用したり、ボートサイドよりスエズに至る

らず、アレクサンドリアは當國第一の商港なり、有名なるスエズ運河に瀕する都會は北端にポートサイド、南端にスエズあり。

スエズ運河はフランス人レセブスの設計に基づきて一千八百五十九

長は百六十軒あり、水面の最小幅七十米突、水深は九米突乃至九米突五十に達す、一千九百六年の通過船舶噸數二千三百四十四萬の中、多きはイギリス（八三〇）にしてドイツ三二五、フランス八五等之に次ぐ。

トリポリア即トリポリは地中海に面し首府をトリポリと云ふ、隊商の發着點たり。

ベルベリアはアフリカ洲の北西部を占む、海岸には多少の屈曲ありてアトラス山脈は東西に走る、氣候は沿岸の地に海候を呈するも、内部は寒暑の差激しく降雨極めて稀なり、而して沙漠の地には植物少なく、其の他には耕種或は牧畜に適する處あり、政治上三部に分かる。

チュニジアはフランスの保護の下に置かる、首府チュニスは本洲屈指の都會にして商業繁昌す、君主、ベイの居住地

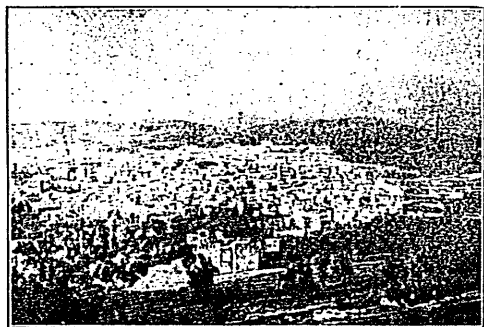
チュニジア

トリポリ

なり、近傍にカルタゴの遺蹟あり。

アルジェリアはベルベリアの中部に位し行政上フランス本國に直隸す、貿易は主にフランスと行はれ、葡萄酒、穀類、獸類等の輸出あり、首府アルジェーは總督府の所在地にて商工業共に盛なり。

マグレブ即モロッコはジブラルタル海峡を隔ててイベリア半島と相對し、專政君主の下に獨立するが、國內の統一は有名無實にてヨーロッパ列強の係争場たり、國內肥沃の地に乏しからざるも、鶏卵、豆類、羊毛



（コッロモ）ズエフ

アルジェリ

モロッコ

フエズ

皮革、ホルモン、ト等を輸出するに過ぎず、首府カヌスは赤色の氈帽を製し、ロムは皮革を産す、ロムは當國第一の貿易場なり。其の北海岸には、カヌスに屬する處、カヌスをクレシヤ、カヌスと云ひ、其の名邑をセウタと稱す。サハラは乾燥を極むる荒蕪不毛の地なるも、山岳あり谷地あり、臺地は甚廣く、沙漠は東部に多し、氣溫の變化は激しくして晝間には五十度に達し夜中には零下三度に降ると云ふ、清水に乏しからざる、カヌスには「ジャッマシ」の繁れるを見る、住民には濃色の「チャブ」、淡色の「ツアレ」ありて遊牧に従事す、生業には案外の發達ありて商業は隊商に依りて行はる、此の地方の大部を領有するものはフ

中部

中部をスーダン、アビシニア、ソマリー、東アラビア、カコンゴの五地方に分つ。スーダンは「サハラ」の南に於ける、カヌスの地なり、大西洋沿岸の外は境界概明ならずして、山岳は著しからず、ニジェール河、チャード湖、白ニール等の灌域より成れり、氣溫高く短期の降雨ありて百草繁茂し、牙類、羽類等を與ふる動物乏しからず、沿岸地即、ギネアには黑人の建設せる、ベリ、共和國の獨立するあれども、其の他の主邦は、カヌス、ベリ、共和國、ベリ等の數國に分屬せり。

ギネア

モンロウ
ア



象牙の掘運(スーダン)

東方スーダン即ちエジプトスーダンはイギリスの承認せるエジプトの總督之を管理す首邑をハルツームと云ふ。

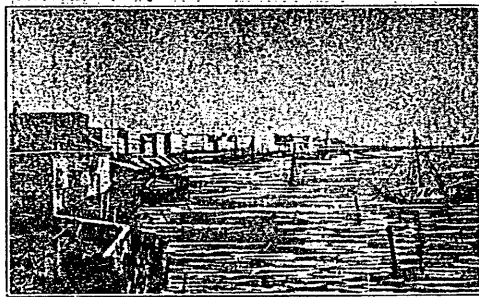
リベリア共和國はアメリカ合衆國にて解放せられたる奴隸收容を目的として起りしものなり首邑をモンロウアと云ふ。

アビシニア アビシニアはスト

ダンの東に位す、中部は高隆にして火山質の山岳は峻嶒を極め河流に乏しからず、氣候上土地は冷、暖、熱の三帶に分かれ、住民はキリスト教を奉ぜり、沿海の地はイタリアに屬するも、エチオピアは獨立してアデスアベバを以て首府とし珈琲、皮革、象牙等を輸出す。

エチオピア

ザンジバル



ザンジンバ

ソマリーリ ソマリーリはガアルダフィ岬を頂點としアデン灣と印度洋とに瀕する半島狀の地なり、西部にはガルラ住みて耕種行はれ、東部にはソマリーリ人ありて牧畜に従事す、北岸の地はフランスとイギリスとに分屬するも、南東部はイタリア領なり。

東アフリカ 東アフリカにはウ

ケレウ、タンガニイカ、ヌヤガ等の大湖、キリマヌデアロ、ケニア、ルウェンゾリ等の高山ありて草原的臺地少なからず、イギリスとドイツとに分領せられ、イギリス領のザンジバ

ル島は良港を有し、モンバサは鐵道の起點なり。

コンゴ獨立國

コンゴはコンゴ河の流域に屬する廣大の地に於て、コンゴ獨立國、フランス領、イスパニア領の三に分かる。

コンゴ獨立國はコンゴ流域の四分の三を占めて、灌溉通舟の便少なからず、西部は草原の地にして、東部には森林多し、氣候は暑熱強く、沿岸は健康に適せざるも、内部の臺地は概、人生の生活に適するが如し、住民は概、バンツト派の黑人にして、カウチツク、象牙、椰子、椰子油等を輸出し、政治上ベルギー皇帝の主權の下にありて、總督はボマに駐在す。

南部

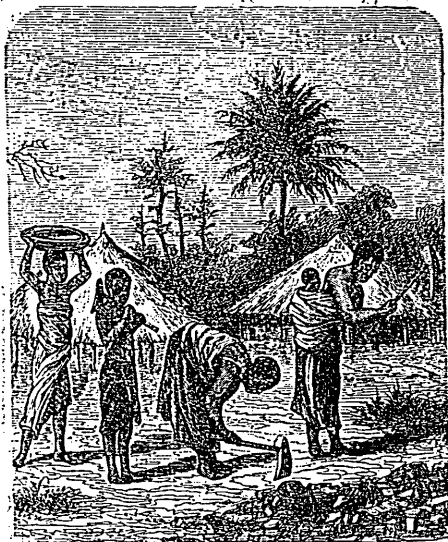
南部は西岸、中央、東岸、南端の四地方に分つことを得。

ボマ
南西
アフリカ

アンゴラ
南西
アフリカ
ワル
フイシ

西岸地方

西岸地方はコンゴ河とオランジェ河との間にありて、大西洋に瀕し、港灣に乏しくして、地味氣候、等も適良ならず、政治上三部に分かれて、其のアンゴラにある飛地を含むは、ボルトガルに、其の南西アフリカ



モサベンの土人

ダマラランドは、其のカルフツに、其のカルフツはイギリスの植民地に屬する。中央地方は、ガンベ河の流域と、カヌバの沙漠とに亘れる土地にして、イギリス

に屬し、ベチク、アナランド、ローデシア、中央アフリカ保護地の三部に分たる。

東岸地方

東岸地方は印度洋に瀕し、ホルトガル領なり、モサンビクを以て首府とす、デラゴア灣のロレンソマルケス并にソファラ灣のベイラは交通の要區たり。

南端地方

南端地方はオランジェ河の流域に當る地と印度洋に瀕する高地とより成る、海岸は屈曲に乏しきも、アグリアス岬、グードホープ岬、デーブル灣等の出入を見る、而して沿海の高地は内部に赴くに從ひて高を増し、ドラケンベルグ山脈は一大水源をなしてオランジェ、バール等の諸流を生ず、氣候は概して人生に適すれども乾燥に失する傾ありて大カルーの如き草原を現出せしめたり。

モサンビク

住民はヨーロッパ人と土人とより成り、ヨーロッパ人にはプール、イギリス人等ありて土人にはホッテントット、カッフル、ズールー等あり、當地方は擧げてイギリス領にしてトランスバール、オレンジリバー、ナタル、ケープ等の諸殖民地を含む。

トランスバール

トランスバール殖民地は舊南アフリカ共和國と稱して獨立せしが近年イギリスに併せられたり、住民は主として採鑛、牧畜を營み金の産額甚多し、首府をプレトリアと云ひ、ヨハネスブルグは産金地の中心なり。

オレンジリバー

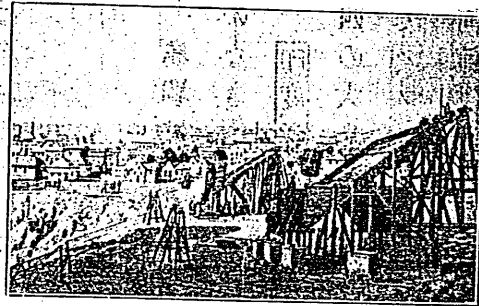
オレンジリバー殖民地は舊オランジェ自由國と稱せしがイギリスの領土と成りし際、今の名に改めたり、金剛石の産地たるのみならず、牧畜盛に行はれ、首府をブルムフオン

タインと呼ぶ。

ナタル殖民地は地味肥沃にして農牧行はる、ビレネルヤ
リツは當殖民地の首府にてダーバンは商業并に交通の要

地なり。

ケープ殖民地は農産、林産、鑛産に
富み、蒸溜、製革等の業も行はれ、金、金
剛石、羊毛、駝鳥羽等の輸出あり、主に
イギリスと取引せられ交通の便少
なからず、アフリカに於けるイギリ
ス領中最大の地なり、首府ケープタ
ウンはテーブル灣に沿ひ交通の要
區にして商業繁榮し、キンバリー



金剛石の採取(キ-リ-)

ナタル

ケープ

ケープ

ケープ
タウ

は金剛石の産地にあり。

● 島嶼部

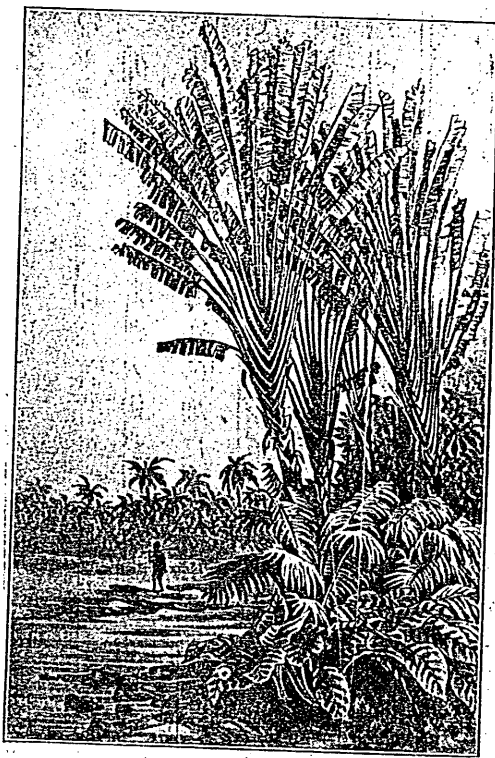
島嶼は多からずしてマダガスカル以外には顯著なるもの
なきも、分ちて印度洋島嶼、大西洋島嶼となす。

印度洋島嶼

マダガスカル
島

マダガスカル島は本洲第一の巨島、世界第
四の大島にして我が國より大なり、モザンビーク海峽を隔て
てアフリカ大陸と相對す、山脈は東方に偏して南北に走り、
河流は其の數少なからざるも漕運の便を供するに至らず、
地味肥沃にして耕種に適する地に乏しからず、住民には
ライ人多し、本島は附近の二小島及、諸島と共に
フランスに屬シタナリボを以て首府とす。

マスカレニ
アス諸島



【ルカスガダマ】オセバギファ

し、其のレウニオン島はフランスに屬するも、モリシアス島、其の他はイギリス領なり。
セイシエル諸島、ソコトラ島は孰もイギリス領なるが、甲者はマヘ港を有

マスカ
レニアス
諸島はマ
ダガスカ
ル島の東
にありて
「ゴヒー」と
甘蔗との
栽培に適

アソレス
諸島

カナリア
諸島

ベルデ諸
島

し乙者は行政上印度帝國に屬す。

大西洋島嶼

アソレス諸島は火山質にして起伏に富め

り、行政上ポルトガルに直隸し柑類、葡萄等の栽培行はる。

マデイラ諸島も亦火山質にてポルトガルに直隸す、氣候溫和にして保養地に適し、葡萄を産す。

カナリア諸島も亦火山島なり、政治上イスパニアに屬す、氣候溫暖にして避寒の地に適せり、大カナリア島のラスパルマスは良港を有し、フェロ島は舊時に於ける本初子午線の地なり。

ベルデ諸島はポルトガル領なり、乾燥に失するもポルト

グランデは良港に瀕し交通の要區なり。
ギネア諸島はポルトガルとイスパニアとに分屬す。

セントヘレナ島

アセンション島は火山質の一嶼なり、イギリスに属す、石炭積込所として航行上の要區たり。

セントヘレナ島は火山質の一孤島にて亦イギリス領なり、ナポレオンが居住せしを以て著はる。

トリスタンダクニャは火山質の群島にてイギリスに属す。

あふりか洲終

あふりか洲終

セントヘレナ島

セントヘレナ島

セントヘレナ島は火山質の一孤島にて亦イギリス領なり、ナポレオンが居住せしを以て著はる。

セントヘレナ島は火山質の一孤島にて亦イギリス領なり、ナポレオンが居住せしを以て著はる。

セントヘレナ島は火山質の一孤島にて亦イギリス領なり、ナポレオンが居住せしを以て著はる。

セントヘレナ島

成美堂書店
振替貯金口座 一七一九番

232

134

